

## マイナビ 2023年度キャリア・就職支援への取り組み調査

内容	大学等のキャリア・就職支援の実態に関する調査
実施期間	2023年7月3日～2023年7月31日
調査対象	全国の大学就職支援担当部署・窓口
調査方法	調査票を大学にメールにて配布。WEB上のアンケートフォームより回収

### 回答属性データ

カテゴリー	国公立	私立	全体
学校別回答数	120	343	463
キャンパス別の回答数	40	137	177
総計	160	480	640

キャンパス別とは・・・同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、各1回答として集計した。

学校所在地	国公立	私立	全体
北海道	16	19	35
東北	15	26	41
関東	27	191	218
甲信越	12	20	32
北陸	10	9	19
東海	14	42	56
関西	18	100	118
中国	16	24	40
四国	6	7	13
九州・沖縄	26	42	68
総計	160	480	640

資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部 TEL: 03(6267)4571 / E-mail: myrm@mynavi.jp

## 設問

(1)就職ガイダンスについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・延べ参加人数の増減(前期・夏休み明け～年末・年明け・全期間)</li><li>・延べ参加人数の増減推移(経年) ・開催回数の増減推移(経年)</li><li>・就職ガイダンスの開始時期(2024年卒、2025年卒予定)</li><li>・就職ガイダンスの動員対策で実施しているもの ・動員対策で効果が高かった施策</li></ul>
(2)採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナーについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・採用広報を目的としない業界研究セミナーの実施の有無</li><li>・延べ参加人数の増減</li><li>・開始時期</li></ul>
(3)採用広報を目的とした学内企業説明会について	<ul style="list-style-type: none"><li>・採用広報を目的とした学内企業説明会実施の有無</li><li>・延べ参加人数の増減 ・延べ参加企業数の増減</li><li>・開始時期、終了時期</li></ul>
(4)低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて	<ul style="list-style-type: none"><li>・キャリア教育(正課)の実施の有無</li><li>・開始時期 ・取り組んでいる内容</li><li>・1学年の在籍人数を母数としたときの履修者の割合</li><li>・キャリア教育(正課)についての関わり</li><li>・単位認定型インターンシップの実施(2024年卒、2025年卒予定)</li><li>・インターンシップの推進に当たっての基本的考え方(三省合意)を受けての取り組みの実施</li><li>・大学3年生・大学院1年生に対してインターンシップ等で期待すること</li></ul>
(5)大学で行っている就職支援について	<ul style="list-style-type: none"><li>・人事担当者がキャリアセンターに求人(票)を[直接持参][WEB提出]した企業数の増減</li><li>・学校から企業に求人(票送付)の依頼を開始する時期(WEB受付含む)</li><li>・[理系]学校推薦状発行開始時期</li><li>・[理系]学部生において学校推薦を使って就職先決定をしている件数</li><li>・就職ガイダンス、業界研究セミナー、学内企業説明会、学生相談のWEBと対面の比率</li><li>・2024年卒学生の内定率(2023年卒との比較)</li><li>・データサイエンス関連で実施しているもの</li><li>・対話形式で生成系AIが質問に答えるサービス、学生が就職活動に利用することに申し伝えていること</li><li>・キャリアセンターへの負荷(2023年卒との比較)</li><li>・現状負荷がかかっており、負荷を解消すべき業務</li><li>・キャリアセンターのミッションでこれから最も力を入れたいテーマ</li><li>・ミッションを目指すうえで注力している施策、最も注力している施策、具体的内容</li><li>・キャリア支援・就職支援に関して、特に知りたいとおもう情報</li></ul>
(6)新卒紹介について	<ul style="list-style-type: none"><li>・各校の状況</li><li>・案内開始希望月</li></ul>
(7)特定の学生に対する支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・外国人留学生(実施プログラム、課題)</li><li>・日本人留学生(実施プログラム、課題)</li><li>・障がいがある学生(就職支援の実施、実施プログラム、課題)</li><li>・体育会系学生(支援内容、課題)</li><li>・高校等と連携して行っていること</li></ul>
補足資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校主催で行う就職ガイダンス増減の理由</li><li>・キャリアセンターの負荷増減の理由</li><li>・低学年学生へのキャリア支援に関する課題</li><li>・就職活動生への就職支援に関する課題</li><li>・その他の課題</li><li>・これからの就職支援についてのご意見</li></ul>
(8)自由記述	

(1) 就職ガイダンスについて

就職ガイダンスは総合ガイダンスから少人数の講座までを含みます。

2024年卒学生向け就職ガイダンスの延べ参加人数を期間別にみると【前期（2022年3月～8月）】では「増加」は18.1%（前年比9.9pt減）と増えたとする回答割合は大幅に減った。逆の「減少」が22.5%（前年比6.4pt増）と減ったとする割合は増えたことから、参加人数は明らかな減少傾向となった。前回の2023年卒の前期は新型コロナウイルスへの対応も2年目となったことから減傾向から増傾向となったが、今回は再び減少傾向が強くなった結果となった。

続いて、【夏休み明け～年末（2022年9月～12月）】は「増加」は12.40%（前年比11.6pt減）と前期よりも大幅に減った。「減少」は27.4%（前年比5.0pt増）と減ったと感じる割合も増えている。【年明け（2023年1月～）】も「増加」が15.5%（前年比6.7pt減）、「減少」は30.0%（前年比9.0pt増）となっている。

全期間における延べ参加人数を見ると、最多は「前年度並み」は52.6%（前年比1.1pt増）。「増加」は18.2%（前年比10.0pt減）と大幅減。逆に「減少」は29.1%（前年比8.8pt増）と大幅増。

すべての期間において、「前年度並み」が最多回答でかつ横ばい傾向ではあるが、全体としてはやや「減少傾向」にあることは注目に値する。その理由を大学のコメントに求めると、増減ともに対面復活による学生の参加率への影響、就職環境の好転から学生が安心感を持ち就職意識が低下、ガイダンス以外の情報源の多様化、という回答が目立った。

2024年卒学生の就職ガイダンス延べ参加人数の増減

【前期（2022年3月～8月）】	全体 (n=612)	国公立 (n=144)	私立 (n=468)	北海道・東北 (n=75)	関東 (n=211)	甲信越・北陸 (n=46)	東海(n=51)	関西 (n=113)	中国・四国 (n=50)	九州・沖縄 (n=66)	参考:前年調査
増加	18.1%	19.4%	17.7%	22.7%	16.1%	19.6%	17.6%	15.9%	12.0%	27.3%	28.0%
前年度並み	59.3%	55.6%	60.5%	58.7%	57.8%	58.7%	66.7%	64.6%	62.0%	48.5%	55.9%
減少	22.5%	25.0%	21.8%	18.7%	26.1%	21.7%	15.7%	19.5%	26.0%	24.2%	16.1%

【夏休み明け～年末(2022年9月～12月)】	全体 (n=603)	国公立 (n=140)	私立 (n=463)	北海道・東北 (n=74)	関東 (n=210)	甲信越・北陸 (n=45)	東海(n=50)	関西 (n=110)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=65)	参考:前年調査
増加	12.4%	12.9%	12.3%	14.9%	11.4%	13.3%	14.0%	11.8%	4.1%	18.5%	24.0%
前年度並み	60.2%	55.0%	61.8%	62.2%	57.1%	60.0%	62.0%	64.5%	69.4%	52.3%	53.7%
減少	27.4%	32.1%	25.9%	23.0%	31.4%	26.7%	24.0%	23.6%	26.5%	29.2%	22.4%

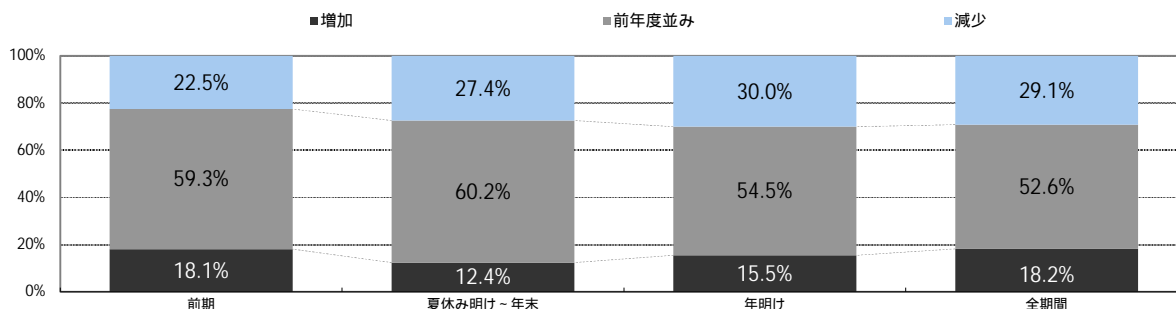
  

【年明け(2023年1月～)】	全体 (n=594)	国公立 (n=138)	私立 (n=456)	北海道・東北 (n=71)	関東 (n=205)	甲信越・北陸 (n=46)	東海(n=49)	関西 (n=111)	中国・四国 (n=47)	九州・沖縄 (n=66)	参考:前年調査
増加	15.5%	20.3%	14.0%	22.5%	10.2%	19.6%	22.4%	16.2%	4.3%	23.1%	22.2%
前年度並み	54.5%	48.6%	56.4%	53.5%	54.1%	47.8%	51.0%	62.2%	61.7%	46.2%	56.8%
減少	30.0%	31.2%	29.6%	23.9%	35.6%	32.6%	26.5%	21.6%	34.0%	30.8%	21.0%

【全期間(上記の全期間)】	全体 (n=604)	国公立 (n=142)	私立 (n=462)	北海道・東北 (n=75)	関東 (n=210)	甲信越・北陸 (n=46)	東海(n=50)	関西 (n=112)	中国・四国 (n=47)	九州・沖縄 (n=64)	参考:前年調査
増加	18.2%	21.1%	17.3%	21.3%	15.2%	17.4%	20.0%	16.1%	12.8%	31.3%	28.2%
前年度並み	52.6%	51.4%	53.0%	57.3%	50.0%	54.3%	56.0%	57.1%	59.6%	39.1%	51.5%
減少	29.1%	27.5%	29.7%	21.3%	34.8%	28.3%	24.0%	26.8%	27.7%	29.7%	20.3%

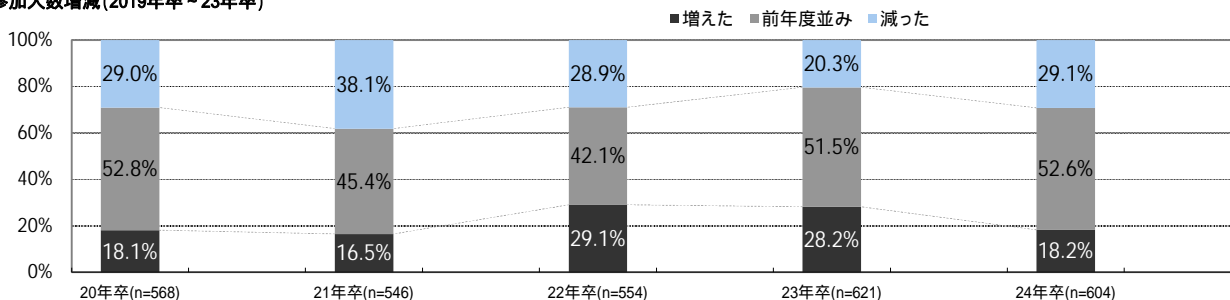
学生の延べ参加人数の増減【開催時期別】(全体)



延べ参加人数の増減(20年卒～24年卒)

	20年卒(n=568)	21年卒(n=546)	22年卒(n=554)	23年卒(n=621)	24年卒(n=604)
増えた	18.1%	16.5%	29.1%	28.2%	18.2%
前年度並み	52.8%	45.4%	42.1%	51.5%	52.6%
減った	29.0%	38.1%	28.9%	20.3%	29.1%

延べ参加人数増減(2019年卒～23年卒)



就職ガイダスの開催回数についてみると、「増えた」が18.2%（前年比8.3pt減）と大きく減、「減った」が8.5%（前年比1.1pt増）と微増、開催回数に関して横ばい傾向となった。2024年卒のガイダス開始時期は「2022年3月以前」が24.2%（前年比4.2pt増）で開始時期は早まっている。2025年卒も「2023年3月以前」が25.4%（前年比3.4pt増）と同様に早めの傾向となっている。

### 2024年卒学生向け就職ガイダス開催回数の増減

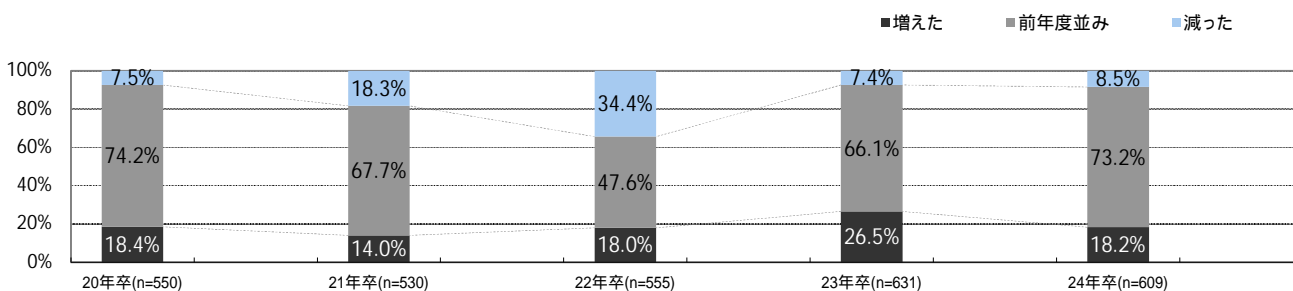
オンデマンド型配信は除く

	全体 (n=609)	国公立 (n=144)	私立 (n=465)	北海道・東北 (n=73)	関東 (n=211)	甲信越・北陸 (n=46)	東海(n=52)	関西 (n=112)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=66)	参考:前年調査
増えた	18.2%	18.8%	18.1%	16.4%	20.4%	15.2%	15.4%	18.8%	18.4%	16.7%	26.5%
前年度並み	73.2%	75.7%	72.5%	76.7%	72.0%	76.1%	65.4%	74.1%	71.4%	77.3%	66.1%
減った	8.5%	5.6%	9.5%	6.8%	7.6%	8.7%	19.2%	7.1%	10.2%	6.1%	7.4%

### 就職ガイダス開催回数の増減推移(2020年卒～24年卒)

	20年卒(n=550)	21年卒(n=530)	22年卒(n=555)	23年卒(n=631)	24年卒(n=609)
増えた	18.4%	14.0%	18.0%	26.5%	18.2%
前年度並み	74.2%	67.7%	47.6%	66.1%	73.2%
減った	7.5%	18.3%	34.4%	7.4%	8.5%

### 就職ガイダス開催回数増減(2020年卒～24年卒)

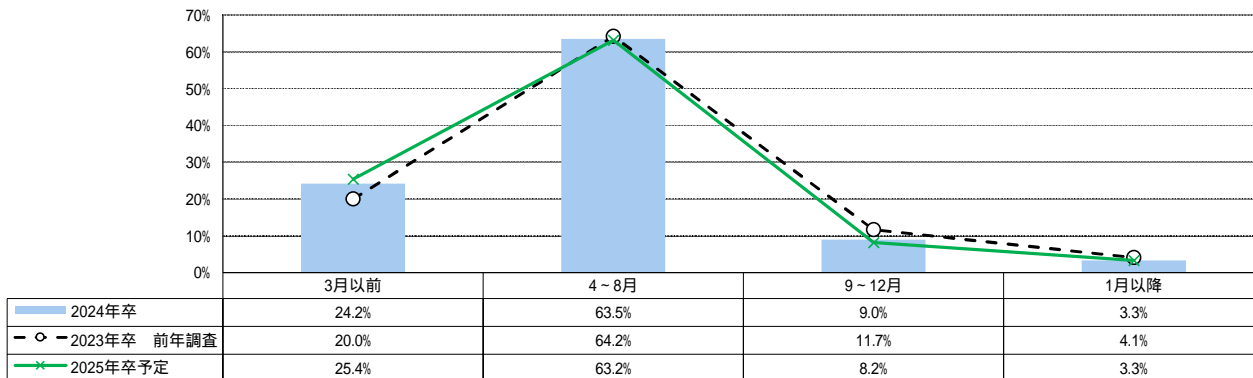


### 就職ガイダスの開始時期

2024年卒学生向け	全体 (n=608)	国公立 (n=146)	私立 (n=462)	北海道・東北 (n=73)	関東 (n=213)	甲信越・北陸 (n=47)	東海(n=51)	関西 (n=112)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=64)	参考:前年調査
2022年3月以前	24.2%	20.5%	25.3%	27.4%	25.4%	34.0%	17.6%	23.2%	22.9%	17.2%	20.0%
2022年4～8月	63.5%	71.9%	60.8%	64.4%	61.5%	53.2%	66.7%	66.1%	72.9%	62.5%	64.2%
2022年9～12月	9.0%	6.8%	9.7%	5.5%	8.9%	10.6%	13.7%	8.0%	4.2%	14.1%	11.7%
2023年1月以降	3.3%	0.7%	4.1%	2.7%	4.2%	2.1%	2.0%	2.7%	-	6.3%	4.1%

2025年卒学生向け	全体 (n=611)	国公立 (n=148)	私立 (n=463)	北海道・東北 (n=73)	関東 (n=213)	甲信越・北陸 (n=48)	東海(n=50)	関西 (n=113)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=65)	参考:前年調査
2023年3月以前	25.4%	21.6%	26.6%	30.1%	25.8%	29.2%	22.0%	25.7%	26.5%	16.9%	22.0%
2023年4～8月	63.2%	70.9%	60.7%	58.9%	60.1%	58.3%	66.0%	66.4%	69.4%	69.2%	63.9%
2023年9～12月	8.2%	6.8%	8.6%	8.2%	9.9%	6.3%	12.0%	5.3%	4.1%	9.2%	11.2%
2024年1月以降	3.3%	0.7%	4.1%	2.7%	4.2%	6.3%	-	2.7%	-	4.6%	2.8%

### 就職ガイダスの開始時期



就職ガイダンスの動員対策の実施を聞いたところ、実施比率が特に高かったのは「学内ポータル掲示(85.8%)」「メール配信(80.3%)」「紙チラシの学内掲示や設置(76.4%)」「教員への情報共有(72.7%)」の4つであった。比率を伸ばしたのは、「学内ポータル掲示(4.6pt増)」「紙チラシの学内掲示や設置(6.0pt増)」「紙チラシの学生配布(8.5pt増)」であった。  
 効果の高い動員対策(3つまで選択)は、「教員への情報共有(40.8%)」が昨年2位から今回1位となった。情報共有のうえ教員から直接学生に伝えてもらうことの効果を感じているようだ。僅差で2位は「メール配信(39.8%)」、3位は「学内ポータル掲示(30.2%)」となった。動員対策の事例として是非参考にしていきたい。

**就職ガイダンスの動員対策で実施しているもの(複数回答)**

	全体 (n=619)	国公立 (n=153)	私立 (n=466)	北海道・東 北(n=74)	関東 (n=213)	甲信越・北 陸(n=49)	東海(n=52)	関西 (n=114)	中国・四国 (n=52)	九州・沖縄 (n=65)	参考:前年 調査
学内ポータル掲示	85.8%	79.7%	87.8%	81.1%	89.7%	81.6%	78.8%	85.1%	92.3%	83.1%	81.2%
メール配信	80.3%	77.8%	81.1%	71.6%	86.4%	83.7%	92.3%	72.8%	75.0%	75.4%	81.3%
紙チラシの学内掲示や設置	76.4%	82.4%	74.5%	78.4%	79.8%	73.5%	65.4%	73.7%	75.0%	80.0%	70.4%
教員への情報共有	72.7%	61.4%	76.4%	70.3%	72.3%	67.3%	75.0%	77.2%	76.9%	67.7%	72.4%
ガイダンス内容の具体化	37.5%	29.4%	40.1%	36.5%	40.8%	30.6%	38.5%	38.6%	30.8%	35.4%	38.3%
紙チラシの学生配布	31.8%	32.0%	31.8%	31.1%	29.6%	22.4%	36.5%	39.5%	38.5%	24.6%	23.3%
告知はがき郵送	31.0%	22.9%	33.7%	25.7%	38.0%	12.2%	40.4%	33.3%	26.9%	20.0%	31.3%
告知文面や表現の見直し	30.9%	30.7%	30.9%	27.0%	37.6%	30.6%	26.9%	27.2%	26.9%	26.2%	27.6%
対象学生の明確化	30.7%	28.8%	31.3%	25.7%	34.3%	28.6%	26.9%	29.8%	30.8%	30.8%	31.3%
SNS配信	29.1%	30.1%	28.8%	20.3%	32.9%	16.3%	26.9%	36.8%	21.2%	30.8%	25.3%
予約数の進捗確認や共有	24.6%	23.5%	24.9%	18.9%	27.2%	26.5%	25.0%	21.1%	25.0%	26.2%	21.9%
アクセスのよい参加場所や参加形態の用意	18.7%	20.9%	18.0%	10.8%	28.2%	16.3%	11.5%	14.0%	19.2%	12.3%	21.0%
「マイナビ学生集め～る」など学外メッセージ配信サービス	17.4%	15.7%	18.0%	14.9%	22.5%	12.2%	23.1%	13.2%	15.4%	12.3%	14.2%
告知ツールや媒体の見直し	14.2%	19.0%	12.7%	14.9%	13.6%	12.2%	13.5%	11.4%	11.5%	24.6%	14.4%
ガイダンス回数増	13.2%	12.4%	13.5%	9.5%	16.4%	10.2%	13.5%	11.4%	5.8%	18.5%	16.2%
告知場所の見直し	6.0%	7.2%	5.6%	5.4%	7.5%	6.1%	5.8%	5.3%	3.8%	4.6%	7.9%
その他	7.6%	6.5%	7.9%	9.5%	8.5%	6.1%	7.7%	6.1%	5.8%	7.7%	6.2%

**動員対策で効果が高かった施策(複数回答・最大3つ)**

	全体 (n=610)	国公立 (n=149)	私立 (n=461)	北海道・東 北(n=73)	関東 (n=209)	甲信越・北 陸(n=49)	東海(n=50)	関西 (n=114)	中国・四国 (n=50)	九州・沖縄 (n=65)	参考:前年 調査
教員への情報共有	40.8%	26.8%	45.3%	38.4%	37.8%	42.9%	42.0%	46.5%	44.0%	38.5%	40.4%
メール配信	39.8%	51.7%	36.0%	42.5%	43.1%	51.0%	40.0%	26.3%	34.0%	46.2%	45.4%
学内ポータル掲示	30.2%	29.5%	30.4%	37.0%	28.7%	30.6%	28.0%	28.1%	32.0%	30.8%	35.5%
告知はがき郵送	17.9%	12.1%	19.7%	12.3%	20.6%	8.2%	28.0%	20.2%	16.0%	12.3%	18.2%
紙チラシの学内掲示や設置	14.4%	22.1%	11.9%	23.3%	11.5%	14.3%	16.0%	11.4%	14.0%	18.5%	13.1%
SNS配信	11.5%	10.1%	11.9%	13.7%	12.9%	2.0%	10.0%	11.4%	8.0%	15.4%	11.9%
ガイダンス内容の具体化	9.7%	11.4%	9.1%	8.2%	6.2%	12.2%	6.0%	13.2%	12.0%	15.4%	7.4%
対象学生の明確化	7.2%	6.0%	7.6%	1.4%	6.2%	8.2%	10.0%	7.9%	10.0%	10.8%	6.4%
告知文面や表現の見直し	6.7%	5.4%	7.2%	9.6%	9.1%	4.1%	8.0%	5.3%	2.0%	3.1%	5.8%
紙チラシの学生配布	5.6%	4.0%	6.1%	5.5%	6.2%	2.0%	6.0%	5.3%	6.0%	6.2%	5.3%
アクセスのよい参加場所や参加形態の用意	5.1%	6.7%	4.6%	1.4%	7.2%	6.1%	2.0%	4.4%	6.0%	4.6%	6.3%
予約数の進捗確認や共有	2.3%	-	3.0%	-	1.4%	6.1%	2.0%	3.5%	2.0%	3.1%	2.0%
告知ツールや媒体の見直し	2.3%	2.0%	2.4%	2.7%	3.3%	2.0%	2.0%	1.8%	2.0%	-	3.3%
ガイダンス回数増	1.8%	3.4%	1.3%	-	2.4%	2.0%	2.0%	2.6%	-	1.5%	4.6%
告知場所の見直し	1.5%	2.7%	1.1%	-	1.4%	4.1%	-	2.6%	2.0%	-	0.9%
「マイナビ学生集め～る」など学外メッセージ配信サービス	1.3%	0.7%	1.5%	1.4%	1.0%	-	-	1.8%	2.0%	3.1%	1.4%
その他	9.7%	8.7%	10.0%	11.0%	12.4%	4.1%	6.0%	7.9%	8.0%	10.8%	8.2%
効果が高かったものはなかった	8.5%	6.7%	9.1%	4.1%	10.0%	8.2%	6.0%	7.9%	8.0%	12.3%	5.5%

その他の回答	エリア	学校区分	内容
	関西	私立	ガイダンス終了後に次のガイダンスの予約を促す
	関東	私立	個別に声をかけ、参加するメリットを説明する
	中国	私立	キャリア系必修科目での告知
	関東	国立	Googleクラスルームなどを通じた周知
関西	私立	内定者座談会と併せて開催	

(2) 2024年卒向けの採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナーについて

2024年卒学生への採用広報を目的としない業界研究セミナーは、前年同様約7割の大学で実施されていた。延べ参加人数は「増加」は18.0%(前年比7.8pt減)と減少し、「減少」が32.2%(前年比3.70pt増)と増加しており参加人数は減少傾向となった。開催時期を前年と比較すると、ピークは昨年と変わらず、「2022年10月」「2022年11月」「2022年12月」だったが昨年より数値は減っている。逆に「2022年3月以前」「2022年4月」「2022年5月」「2022年6月」の比率は前年を上回っており、前倒しの傾向が見て取れた。

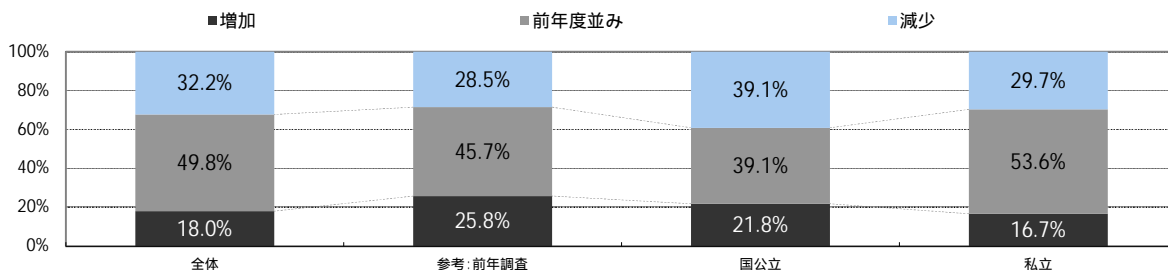
採用広報を目的としない業界研究セミナーの実施

	全体 (n=640)	国公立 (n=160)	私立 (n=480)	北海道・東 北(n=76)	関東 (n=218)	甲信越・北 陸(n=51)	東海(n=56)	関西 (n=118)	中国・四国 (n=53)	九州・沖縄 (n=68)	参考:前年 調査
実施している	69.2%	74.4%	67.5%	64.5%	70.6%	78.4%	67.9%	64.4%	73.6%	69.1%	70.2%
実施していない	30.8%	25.6%	32.5%	35.5%	29.4%	21.6%	32.1%	35.6%	26.4%	30.9%	29.8%

2024年卒学生の延べ参加人数は2023年卒と比較して

	全体 (n=416)	国公立 (n=110)	私立 (n=306)	北海道・東 北(n=49)	関東 (n=150)	甲信越・北 陸(n=36)	東海(n=33)	関西(n=68)	中国・四国 (n=36)	九州・沖縄 (n=44)	参考:前年 調査
増加	18.0%	21.8%	16.7%	24.5%	15.3%	13.9%	15.2%	19.1%	2.8%	36.4%	25.8%
前年度並み	49.8%	39.1%	53.6%	46.9%	48.0%	58.3%	51.5%	50.0%	61.1%	40.9%	45.7%
減少	32.2%	39.1%	29.7%	28.6%	36.7%	27.8%	33.3%	30.9%	36.1%	22.7%	28.5%

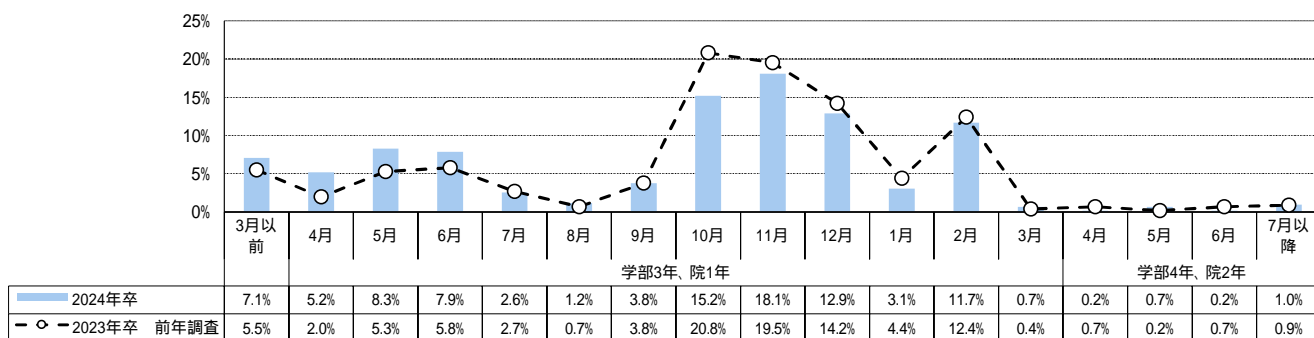
業界研究セミナー参加人数



2024年卒向け業界研究セミナーの開始時期

	全体 (n=420)	国公立 (n=108)	私立 (n=312)	北海道・東 北(n=48)	関東 (n=149)	甲信越・北 陸(n=37)	東海(n=35)	関西(n=70)	中国・四国 (n=36)	九州・沖縄 (n=45)	参考:前年 調査
2022年3月以前	7.1%	8.3%	6.7%	8.3%	7.4%	8.1%	2.9%	7.1%	8.3%	6.7%	5.5%
2022年4月	5.2%	2.8%	6.1%	10.4%	6.0%	-	-	5.7%	-	8.9%	2.0%
2022年5月	8.3%	8.3%	8.3%	4.2%	10.7%	5.4%	5.7%	14.3%	-	6.7%	5.3%
2022年6月	7.9%	8.3%	7.7%	6.3%	10.1%	10.8%	8.6%	1.4%	11.1%	6.7%	5.8%
2022年7月	2.6%	2.8%	2.6%	2.1%	2.0%	-	-	2.9%	-	11.1%	2.7%
2022年8月	1.2%	0.9%	1.3%	2.1%	1.3%	2.7%	-	-	-	2.2%	0.7%
2022年9月	3.8%	4.6%	3.5%	4.2%	4.0%	5.4%	-	5.7%	5.6%	-	3.8%
2022年10月	15.2%	13.0%	16.0%	12.5%	12.8%	13.5%	28.6%	21.4%	16.7%	6.7%	20.8%
2022年11月	18.1%	19.4%	17.6%	18.8%	15.4%	21.6%	34.3%	15.7%	16.7%	15.6%	19.5%
2022年12月	12.9%	17.6%	11.2%	6.3%	15.4%	13.5%	5.7%	10.0%	22.2%	13.3%	14.2%
2023年1月	3.1%	3.7%	2.9%	4.2%	2.7%	2.7%	-	2.9%	2.8%	6.7%	4.4%
2023年2月	11.7%	9.3%	12.5%	18.8%	10.7%	10.8%	8.6%	11.4%	16.7%	6.7%	12.4%
2023年3月	0.7%	0.9%	0.6%	2.1%	-	-	-	-	-	4.4%	0.4%
2023年4月	0.2%	-	0.3%	-	0.7%	-	-	-	-	-	0.7%
2023年5月	0.7%	-	1.0%	-	0.7%	-	2.9%	-	-	2.2%	0.2%
2023年6月	0.2%	-	0.3%	-	-	2.7%	-	-	-	-	0.7%
2023年7月以降	1.0%	-	1.3%	-	-	2.7%	2.9%	1.4%	-	2.2%	0.9%

業界研究セミナーの開始時期



### (3) 採用広報を目的とした学内企業説明会について

採用広報を目的とした学内企業説明会は、延べ参加人数が大きく減少した前回の2023年卒に引き続き、今回の2024年卒においても、延べ参加人数は「増えた」が19.7%（前年比7.2pt減）と減少し、「減った」も36.4%（前年比7.9pt増）と増加となった。特に「減った」は「関東」が42.7%と減少幅が大きく、集客の厳しさが際立っている。延べ参加企業数は「増えた」が27.7%（前年比1.9pt減）と微減、「減った」は17.2%（前年比0.4pt増）と微増と、減少を増加が上回っており、企業側の採用意欲の高さが伺える。

学内企業説明会開始時期は、前年最も高かった「3月」が29.2%（前年比3.5pt減）となり数値は減となり2位となった。「2月」は29.5%（前年比2.7pt増）となり、僅差ながら1位となった。「1月以前」も16.9%（前年比1.8pt増）と微増しており、前倒し傾向が見られた。特に「2月」開始の比率が高いのは「関東（35.5%）」「東海（46.7%）」「関西（33.0%）」となり、エリアによる差もあることがわかった。

学内企業説明会終了時期は前年の2023年卒に続き「2023年12月」の14.7%が最多となった。エリアによる差もあり特に「中国・四国」では30.6%が「2023年12月」終了と高い数値となっている。また年明けの2024年1月以降に終了する予定の比率が計26.0%となっており、およそ4校に1校が年明けの卒業や修了直前まで学内企業説明会を続けているということになる。これは企業側の採用意欲の高さに加えて、就職活動生への就職支援に関する課題についての回答でも「動き出しの遅い学生への働きかけ」「就職活動に消極的な学生への支援」「スタートが遅れた学生への支援」といった内容が多くあり、卒業・修了の間際までキャリアセンターが支援を続けている様子が見える。

#### 2024年卒学生向けの採用広報を目的とした学内企業説明会の実施について

	全体 (n=640)	国公立 (n=160)	私立 (n=480)	北海道・東 北(n=76)	関東 (n=218)	甲信越・北 陸(n=51)	東海(n=56)	関西 (n=118)	中国・四国 (n=53)	九州・沖縄 (n=68)	参考:前年 調査
実施した(予定含む)	83.0%	77.5%	84.8%	78.9%	86.2%	76.5%	80.4%	81.4%	81.1%	88.2%	80.2%
実施していない	17.0%	22.5%	15.2%	21.1%	13.8%	23.5%	19.6%	18.6%	18.9%	11.8%	19.8%

#### 2024年卒学生の延べ参加人数は2023年卒と比較して

	全体 (n=517)	国公立 (n=115)	私立 (n=402)	北海道・東 北(n=64)	関東 (n=185)	甲信越・北 陸(n=34)	東海(n=43)	関西(n=88)	中国・四国 (n=43)	九州・沖縄 (n=60)	参考:前年 調査
増えた	19.7%	14.8%	21.1%	26.6%	17.3%	23.5%	20.9%	22.7%	11.6%	18.3%	26.9%
前年度並み	43.9%	41.7%	44.5%	42.2%	40.0%	44.1%	46.5%	48.9%	51.2%	43.3%	44.7%
減った	36.4%	43.5%	34.3%	31.3%	42.7%	32.4%	32.6%	28.4%	37.2%	38.3%	28.5%

#### 2024年卒学生の延べ参加企業数は2023年卒と比較して

	全体 (n=517)	国公立 (n=114)	私立 (n=403)	北海道・東 北(n=64)	関東 (n=181)	甲信越・北 陸(n=34)	東海(n=43)	関西(n=91)	中国・四国 (n=44)	九州・沖縄 (n=60)	参考:前年 調査
増えた	27.7%	19.3%	30.0%	31.3%	22.7%	41.2%	25.6%	22.0%	36.4%	35.0%	29.6%
前年度並み	55.1%	61.4%	53.3%	51.6%	57.5%	50.0%	58.1%	60.4%	56.8%	43.3%	53.6%
減った	17.2%	19.3%	16.6%	17.2%	19.9%	8.8%	16.3%	17.6%	6.8%	21.7%	16.8%

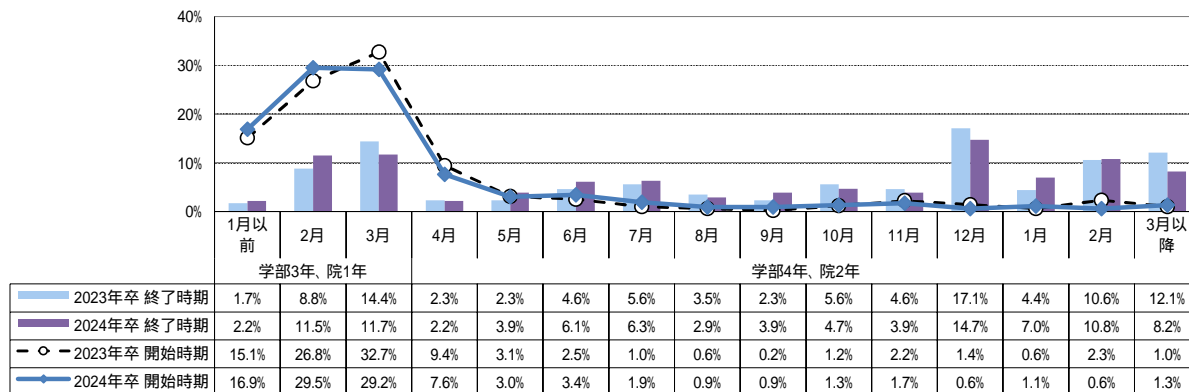
#### 2024年卒向け学内企業説明会の開始時期

	全体 (n=528)	国公立 (n=119)	私立 (n=409)	北海道・東 北(n=64)	関東 (n=186)	甲信越・北 陸(n=36)	東海(n=45)	関西(n=94)	中国・四国 (n=43)	九州・沖縄 (n=60)	参考:前年 調査
2023年1月以前	16.9%	16.8%	16.9%	20.3%	19.9%	22.2%	13.3%	13.8%	14.0%	10.0%	15.1%
2023年2月	29.5%	10.1%	35.2%	17.2%	35.5%	11.1%	46.7%	33.0%	20.9%	23.3%	26.8%
2023年3月	29.2%	53.8%	22.0%	40.6%	22.0%	30.6%	17.8%	21.3%	44.2%	48.3%	32.7%
2023年4月	7.6%	5.0%	8.3%	10.9%	8.1%	5.6%	8.9%	4.3%	7.0%	8.3%	9.4%
2023年5月	3.0%	1.7%	3.4%	3.1%	0.5%	8.3%	4.4%	4.3%	2.3%	5.0%	3.1%
2023年6月	3.4%	1.7%	3.9%	1.6%	2.7%	2.8%	-	6.4%	7.0%	3.3%	2.5%
2023年7月	1.9%	1.7%	2.0%	3.1%	2.7%	2.8%	2.2%	1.1%	-	-	1.0%
2023年8月	0.9%	-	1.2%	-	1.6%	2.8%	-	1.1%	-	-	0.6%
2023年9月	0.9%	2.5%	0.5%	1.6%	-	5.6%	-	2.1%	-	-	0.2%
2023年10月	1.3%	0.8%	1.5%	-	1.6%	-	-	4.3%	-	-	1.2%
2023年11月	1.7%	-	2.2%	-	2.2%	-	2.2%	4.3%	-	-	2.2%
2023年12月	0.6%	1.7%	0.2%	-	0.5%	-	2.2%	1.1%	-	-	1.4%
2024年1月	1.1%	1.7%	1.0%	-	1.1%	2.8%	-	2.1%	-	1.7%	0.6%
2024年2月	0.6%	-	0.7%	-	1.1%	-	-	1.1%	-	-	2.3%
2024年3月以降	1.3%	2.5%	1.0%	1.6%	0.5%	5.6%	2.2%	-	4.7%	-	1.0%

#### 2024年卒向け学内企業説明会の終了時期

	全体 (n=489)	国公立 (n=114)	私立 (n=375)	北海道・東 北(n=57)	関東 (n=175)	甲信越・北 陸(n=36)	東海(n=42)	関西(n=85)	中国・四国 (n=36)	九州・沖縄 (n=58)	参考:前年 調査
2023年1月以前	2.2%	2.6%	2.1%	3.5%	3.4%	2.8%	-	-	2.8%	1.7%	1.7%
2023年2月	11.5%	7.0%	12.8%	3.5%	12.6%	11.1%	16.7%	20.0%	2.8%	5.2%	8.8%
2023年3月	11.7%	26.3%	7.2%	21.1%	10.3%	16.7%	21.4%	7.1%	5.6%	6.9%	14.4%
2023年4月	2.2%	5.3%	1.3%	7.0%	1.7%	-	2.4%	1.2%	-	3.4%	2.3%
2023年5月	3.9%	5.3%	3.5%	1.8%	3.4%	-	2.4%	5.9%	5.6%	6.9%	2.3%
2023年6月	6.1%	6.1%	6.1%	1.8%	9.1%	-	9.5%	3.5%	2.8%	8.6%	4.6%
2023年7月	6.3%	6.1%	6.4%	1.8%	5.7%	11.1%	4.8%	9.4%	5.6%	6.9%	5.6%
2023年8月	2.9%	2.6%	2.9%	1.8%	4.0%	5.6%	-	1.2%	5.6%	1.7%	3.5%
2023年9月	3.9%	5.3%	3.5%	3.5%	3.4%	5.6%	2.4%	2.4%	5.6%	6.9%	2.3%
2023年10月	4.7%	5.3%	4.5%	3.5%	5.1%	5.6%	4.8%	3.5%	5.6%	5.2%	5.6%
2023年11月	3.9%	-	5.1%	1.8%	4.6%	-	4.8%	5.9%	-	5.2%	4.6%
2023年12月	14.7%	4.4%	17.9%	14.0%	14.3%	16.7%	7.1%	16.5%	30.6%	8.6%	17.1%
2024年1月	7.0%	4.4%	7.7%	7.0%	7.4%	11.1%	4.8%	8.2%	2.8%	5.2%	4.4%
2024年2月	10.8%	12.3%	10.4%	15.8%	9.7%	2.8%	9.5%	8.2%	19.4%	13.8%	10.6%
2024年3月以降	8.2%	7.0%	8.5%	12.3%	5.1%	11.1%	9.5%	7.1%	5.6%	13.8%	12.1%
1月以降の合計	26.0%	23.7%	26.6%	35.1%	22.2%	25.0%	23.8%	23.5%	27.8%	32.8%	27.1%

2024年卒向け学内企業説明会の開始と終了時期(前年との比較)





#### (4) 低学年時からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて

キャリア教育(正課)は84.4%(前年比0.6pt増)が実施している。前年同様に「学部1年次前期」65.0%(前年比0.6pt増)から開始している大学が最も多く、キャリア教育(正課)を実施している大学の多くが大学1年からキャリア教育に取り組んでいる。  
 低学年(大学1、2年生)対象のキャリア教育(正課)内容に関しては1位「職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業」が93.4%(前年比0.1pt減)、2位「社会人基礎力の醸成を目的とした授業」が76.7%(前年比3.6pt減)と実施率が高く、今回の調査より選択肢に入れた「就業体験を伴う授業(インターンシップ等)」が30.7%と高い数値となり3位となった。  
 また、今回より各学年対象別にキャリア教育(正課)への受講履修者の割合を聞いた。各学年の最多割合は、大学1年生対象では「10割」の36.2%、大学2年生対象では「3割以下」の34.3%、大学3年生(修士1年生)では「3割以下」の33.0%、大学4年生(修士2年生)対象では、「この対象では実施していない」の65.1%となった。大学1年生が最も参加割合として高い傾向にある。入学してまだ間もない時期に、キャリア教育を必修授業として設定している大学が多いのかもしれない。

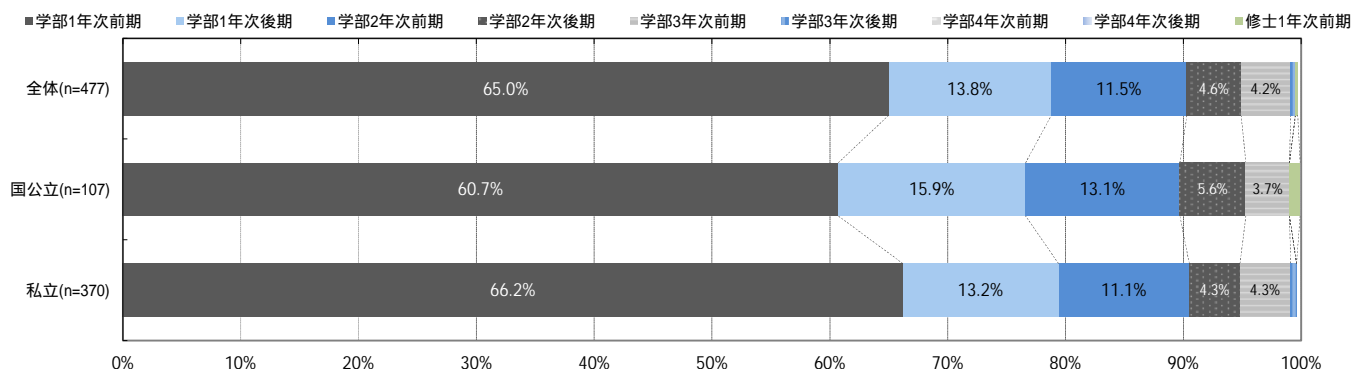
##### キャリア教育(正課)を実施しているか

	全体 (n=640)	国公立 (n=160)	私立 (n=480)	北海道・東北 (n=76)	関東 (n=218)	甲信越・北陸 (n=51)	東海(n=56)	関西 (n=118)	中国・四国 (n=53)	九州・沖縄 (n=68)	参考:前年調査
実施している	84.4%	82.5%	85.0%	85.5%	82.1%	88.2%	82.1%	81.4%	88.7%	91.2%	83.8%
実施していない	15.6%	17.5%	15.0%	14.5%	17.9%	11.8%	17.9%	18.6%	11.3%	8.8%	16.2%

##### キャリア教育の開始時期

	全体 (n=477)	国公立 (n=107)	私立 (n=370)	北海道・東北 (n=59)	関東 (n=160)	甲信越・北陸 (n=37)	東海(n=38)	関西(n=89)	中国・四国 (n=43)	九州・沖縄 (n=51)	参考:前年調査
学部1年次前期	65.0%	60.7%	66.2%	66.1%	65.6%	70.3%	60.5%	66.3%	62.8%	60.8%	64.4%
学部1年次後期	13.8%	15.9%	13.2%	16.9%	14.4%	8.1%	21.1%	9.0%	9.3%	19.6%	13.1%
学部2年次前期	11.5%	13.1%	11.1%	6.8%	13.1%	13.5%	7.9%	13.5%	16.3%	5.9%	13.1%
学部2年次後期	4.6%	5.6%	4.3%	5.1%	1.9%	8.1%	7.9%	6.7%	4.7%	3.9%	3.2%
学部3年次前期	4.2%	3.7%	4.3%	5.1%	3.1%	-	2.6%	3.4%	7.0%	9.8%	4.6%
学部3年次後期	0.4%	-	0.5%	-	1.3%	-	-	-	-	-	1.0%
学部4年次前期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%
学部4年次後期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
修士1年次前期	0.2%	0.9%	-	-	0.6%	-	-	-	-	-	0.2%
修士1年次後期	0.2%	-	0.3%	-	-	-	-	1.1%	-	-	-
修士2年次前期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
修士2年次後期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

##### キャリア教育の開始時期



キャリア教育(正課)のなかで取り組んでいる内容

【低学年(大学1、2年生)対象】(複数回答)

	全体 (n=486)	国公立 (n=106)	私立 (n=380)	北海道・東 北(n=61)	関東 (n=162)	甲信越・北 陸(n=41)	東海(n=40)	関西(n=89)	中国・四国 (n=40)	九州・沖縄 (n=53)	参考:前年 調査
職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業	93.4%	93.4%	93.4%	91.8%	92.0%	87.8%	92.5%	95.5%	100.0%	96.2%	93.5%
社会人基礎力の醸成を目的とした授業	76.7%	70.8%	78.4%	80.3%	74.7%	65.9%	82.5%	78.7%	85.0%	73.6%	80.3%
就業体験を伴う授業(インターンシップ等)	30.7%	34.0%	29.7%	26.2%	24.7%	29.3%	40.0%	30.3%	47.5%	35.8%	-
企業と連携して実施する課題解決型の授業(PBL)	27.0%	25.5%	27.4%	26.2%	23.5%	24.4%	32.5%	28.1%	30.0%	32.1%	26.0%
働くことに関するルール(労働関係法令等)の授業	25.7%	25.5%	25.8%	31.1%	22.2%	22.0%	35.0%	19.1%	35.0%	30.2%	26.4%
男女共同参画の視点を踏まえたキャリア授業	20.4%	18.9%	20.8%	14.8%	22.2%	9.8%	22.5%	15.7%	27.5%	30.2%	20.1%
資格取得・就職対策等を目的とした授業	20.4%	11.3%	22.9%	16.4%	21.0%	26.8%	32.5%	16.9%	15.0%	18.9%	21.7%
ポートフォリオを活用したキャリア形成に関する授業	16.3%	14.2%	16.8%	16.4%	14.2%	17.1%	7.5%	19.1%	27.5%	15.1%	18.1%
この対象では、実施していない	1.4%	0.9%	1.6%	-	2.5%	-	-	1.1%	-	3.8%	1.8%

【低学年(大学1、2年生)対象】(最も注力)

	全体 (n=470)	国公立 (n=105)	私立 (n=365)	北海道・東 北(n=56)	関東 (n=156)	甲信越・北 陸(n=39)	東海(n=40)	関西(n=89)	中国・四国 (n=39)	九州・沖縄 (n=51)
職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業	62.1%	67.6%	60.5%	58.9%	60.9%	61.5%	67.5%	61.8%	64.1%	64.7%
社会人基礎力の醸成を目的とした授業	18.9%	14.3%	20.3%	21.4%	19.9%	17.9%	7.5%	20.2%	25.6%	15.7%
就業体験を伴う授業(インターンシップ等)	7.4%	11.4%	6.3%	10.7%	7.7%	5.1%	15.0%	4.5%	2.6%	7.8%
企業と連携して実施する課題解決型の授業(PBL)	5.3%	1.0%	6.6%	3.6%	5.1%	5.1%	2.5%	6.7%	7.7%	5.9%
ポートフォリオを活用したキャリア形成に関する授業	2.1%	1.0%	2.5%	3.6%	1.9%	5.1%	2.5%	2.2%	-	-
資格取得・就職対策等を目的とした授業	1.7%	1.9%	1.6%	-	1.9%	5.1%	2.5%	1.1%	-	2.0%
働くことに関するルール(労働関係法令等)の授業	0.4%	-	0.5%	-	-	-	2.5%	1.1%	-	-
男女共同参画の視点を踏まえたキャリア授業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
この対象では、実施していない	1.9%	2.9%	1.6%	1.8%	2.6%	-	-	2.2%	-	3.9%

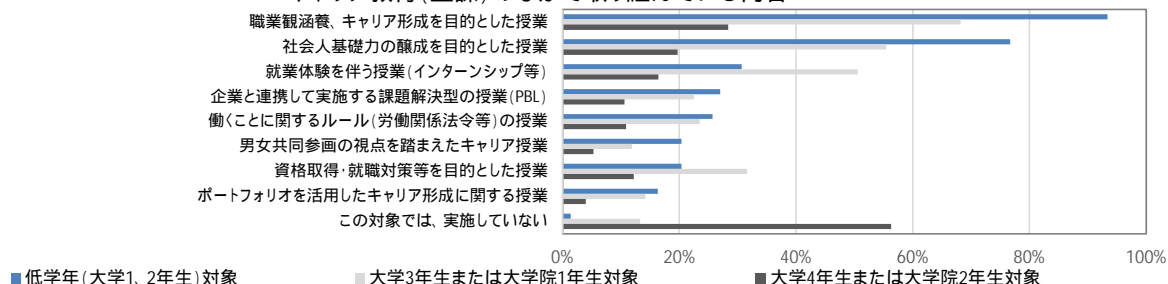
【大学3年生または大学院1年生対象】(複数回答)

	全体 (n=472)	国公立 (n=108)	私立 (n=364)	北海道・東 北(n=58)	関東 (n=159)	甲信越・北 陸(n=38)	東海(n=39)	関西(n=84)	中国・四国 (n=39)	九州・沖縄 (n=55)	参考:前年 調査
職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業	68.2%	58.3%	71.2%	58.6%	71.1%	65.8%	64.1%	67.9%	59.0%	81.8%	73.3%
社会人基礎力の醸成を目的とした授業	55.5%	47.2%	58.0%	50.0%	54.1%	57.9%	69.2%	56.0%	56.4%	52.7%	63.1%
就業体験を伴う授業(インターンシップ等)	50.6%	48.1%	51.4%	43.1%	50.3%	60.5%	38.5%	47.6%	53.8%	63.6%	-
資格取得・就職対策等を目的とした授業	31.6%	23.1%	34.1%	34.5%	32.1%	28.9%	25.6%	28.6%	35.9%	34.5%	38.9%
働くことに関するルール(労働関係法令等)の授業	23.5%	24.1%	23.4%	20.7%	27.7%	18.4%	23.1%	13.1%	20.5%	36.4%	26.9%
企業と連携して実施する課題解決型の授業(PBL)	22.5%	20.4%	23.1%	20.7%	22.0%	13.2%	10.3%	29.8%	25.6%	27.3%	26.5%
ポートフォリオを活用したキャリア形成に関する授業	14.2%	10.2%	15.4%	19.0%	13.2%	10.5%	17.9%	13.1%	15.4%	12.7%	15.5%
男女共同参画の視点を踏まえたキャリア授業	11.9%	10.2%	12.4%	6.9%	14.5%	7.9%	12.8%	6.0%	12.8%	20.0%	14.3%
この対象では、実施していない	13.3%	18.5%	11.8%	17.2%	13.8%	10.5%	12.8%	16.7%	10.3%	7.3%	13.5%

【大学4年生または大学院2年生対象】(複数回答)

	全体 (n=451)	国公立 (n=104)	私立 (n=347)	北海道・東 北(n=58)	関東 (n=151)	甲信越・北 陸(n=38)	東海(n=33)	関西(n=81)	中国・四国 (n=38)	九州・沖縄 (n=52)	参考:前年 調査
職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業	28.4%	27.9%	28.5%	24.1%	32.5%	28.9%	18.2%	29.6%	21.1%	30.8%	31.8%
社会人基礎力の醸成を目的とした授業	19.7%	18.3%	20.2%	12.1%	19.2%	21.1%	21.2%	25.9%	21.1%	17.3%	27.1%
就業体験を伴う授業(インターンシップ等)	16.4%	23.1%	14.4%	13.8%	16.6%	23.7%	3.0%	16.0%	18.4%	21.2%	-
資格取得・就職対策等を目的とした授業	12.2%	7.7%	13.5%	8.6%	11.9%	13.2%	6.1%	13.6%	15.8%	15.4%	15.7%
働くことに関するルール(労働関係法令等)の授業	10.9%	13.5%	10.1%	6.9%	16.6%	5.3%	6.1%	4.9%	7.9%	17.3%	14.3%
企業と連携して実施する課題解決型の授業(PBL)	10.6%	14.4%	9.5%	10.3%	7.3%	10.5%	3.0%	12.3%	13.2%	21.2%	12.3%
男女共同参画の視点を踏まえたキャリア授業	5.3%	7.7%	4.6%	1.7%	6.0%	5.3%	6.1%	3.7%	5.3%	9.6%	7.6%
ポートフォリオを活用したキャリア形成に関する授業	4.0%	5.8%	3.5%	1.7%	2.6%	2.6%	-	4.9%	10.5%	7.7%	6.0%
この対象では、実施していない	56.3%	59.6%	55.3%	63.8%	55.6%	57.9%	69.7%	49.4%	55.3%	51.9%	58.2%

キャリア教育(正課)のなかで取り組んでいる内容



キャリア教育(正課)への受講について、1学年の在籍人数を母数としたときの履修者の割合

【大学1年生対象】

	全体 (n=437)	国公立 (n=94)	私立 (n=343)	北海道・東 北(n=57)	関東 (n=147)	甲信越・北 陸(n=38)	東海(n=36)	関西(n=75)	中国・四国 (n=36)	九州・沖縄 (n=48)
10割	36.2%	31.9%	37.3%	47.4%	32.7%	31.6%	38.9%	34.7%	27.8%	43.8%
8～9割	14.4%	11.7%	15.2%	14.0%	12.2%	23.7%	19.4%	9.3%	19.4%	14.6%
6～7割	5.9%	6.4%	5.8%	5.3%	5.4%	2.6%	5.6%	8.0%	5.6%	8.3%
4～5割	6.6%	6.4%	6.7%	-	9.5%	7.9%	2.8%	9.3%	5.6%	4.2%
3割以下	20.8%	25.5%	19.5%	19.3%	24.5%	13.2%	16.7%	24.0%	22.2%	14.6%
この対象では実施していない	16.0%	18.1%	15.5%	14.0%	15.6%	21.1%	16.7%	14.7%	19.4%	14.6%

【大学2年生対象】

	全体 (n=435)	国公立 (n=94)	私立 (n=341)	北海道・東 北(n=56)	関東 (n=141)	甲信越・北 陸(n=38)	東海(n=36)	関西(n=78)	中国・四国 (n=38)	九州・沖縄 (n=48)
10割	21.4%	13.8%	23.5%	25.0%	18.4%	31.6%	19.4%	20.5%	15.8%	25.0%
8～9割	12.6%	6.4%	14.4%	10.7%	11.3%	15.8%	22.2%	11.5%	5.3%	16.7%
6～7割	6.9%	5.3%	7.3%	7.1%	7.8%	2.6%	2.8%	9.0%	7.9%	6.3%
4～5割	12.9%	10.6%	13.5%	14.3%	13.5%	13.2%	13.9%	10.3%	10.5%	14.6%
3割以下	34.3%	45.7%	31.1%	33.9%	36.2%	28.9%	27.8%	41.0%	36.8%	25.0%
この対象では実施していない	12.0%	18.1%	10.3%	8.9%	12.8%	7.9%	13.9%	7.7%	23.7%	12.5%

【大学3年生(修士1年生)対象対象】

	全体 (n=439)	国公立 (n=94)	私立 (n=345)	北海道・東 北(n=58)	関東 (n=143)	甲信越・北 陸(n=38)	東海(n=34)	関西(n=80)	中国・四国 (n=36)	九州・沖縄 (n=50)
10割	14.8%	20.2%	13.3%	19.0%	11.9%	23.7%	20.6%	12.5%	11.1%	14.0%
8～9割	16.2%	9.6%	18.0%	25.9%	15.4%	15.8%	17.6%	15.0%	11.1%	12.0%
6～7割	10.0%	3.2%	11.9%	6.9%	11.9%	7.9%	11.8%	10.0%	8.3%	10.0%
4～5割	11.4%	10.6%	11.6%	6.9%	9.8%	7.9%	8.8%	12.5%	25.0%	14.0%
3割以下	33.0%	40.4%	31.0%	29.3%	35.0%	26.3%	29.4%	32.5%	30.6%	42.0%
この対象では実施していない	14.6%	16.0%	14.2%	12.1%	16.1%	18.4%	11.8%	17.5%	13.9%	8.0%

【大学4年生(修士2年生)対象対象】

	全体 (n=410)	国公立 (n=88)	私立 (n=322)	北海道・東 北(n=54)	関東 (n=137)	甲信越・北 陸(n=37)	東海(n=32)	関西(n=72)	中国・四国 (n=33)	九州・沖縄 (n=45)
10割	4.4%	6.8%	3.7%	5.6%	2.9%	8.1%	9.4%	2.8%	6.1%	2.2%
8～9割	4.4%	1.1%	5.3%	5.6%	5.1%	2.7%	3.1%	4.2%	-	6.7%
6～7割	1.7%	-	2.2%	-	1.5%	-	-	4.2%	6.1%	-
4～5割	2.2%	1.1%	2.5%	1.9%	1.5%	-	6.3%	1.4%	3.0%	4.4%
3割以下	22.2%	28.4%	20.5%	25.9%	21.9%	18.9%	18.8%	27.8%	21.2%	15.6%
この対象では実施していない	65.1%	62.5%	65.8%	61.1%	67.2%	70.3%	62.5%	59.7%	63.6%	71.1%

キャリア教育(正課)についての関わり(複数回答)

	全体 (n=500)	国公立 (n=114)	私立 (n=386)	北海道・東 北(n=62)	関東 (n=167)	甲信越・北 陸(n=41)	東海(n=41)	関西(n=89)	中国・四国 (n=45)	九州・沖縄 (n=55)
授業内容について、授業担当教員と相談して決めている	50.2%	38.6%	53.6%	64.5%	47.3%	51.2%	46.3%	47.2%	44.4%	54.5%
授業で登壇する機会がある	46.4%	28.1%	51.8%	43.5%	47.9%	46.3%	43.9%	55.1%	37.8%	40.0%
授業の履修状況を把握している	38.4%	36.0%	39.1%	54.8%	36.5%	43.9%	39.0%	33.7%	40.0%	27.3%
授業のアンケートなどを確認している	32.2%	30.7%	32.6%	45.2%	32.9%	34.1%	14.6%	30.3%	33.3%	29.1%
その他	13.4%	22.8%	10.6%	17.7%	13.2%	9.8%	17.1%	10.1%	15.6%	12.7%
特に関わっていることはない	18.8%	28.1%	16.1%	12.9%	20.4%	19.5%	19.5%	16.9%	24.4%	18.2%

低学年向けのアセスメントツール実施有無について

	全体 (n=640)	国公立 (n=160)	私立 (n=480)	北海道・東 北(n=76)	関東 (n=218)	甲信越・北 陸(n=51)	東海(n=56)	関西(n=118)	中国・四国 (n=53)	九州・沖縄 (n=68)	参考:前年 調査
実施している	47.2%	30.0%	52.9%	44.7%	50.9%	56.9%	46.4%	40.7%	47.2%	42.6%	45.4%
実施していない	52.8%	70.0%	47.1%	55.3%	49.1%	43.1%	53.6%	59.3%	52.8%	57.4%	54.6%

大学で実施する単位認定型のインターンシップの実施に関して、2024年卒は「例年通り実施」が62.7%（前年比3.9pt増）となった。「実施しなかった」は28.7%（前年比0.5pt減）となり実施は微増となっている。2025年卒に向けた予定では、「例年通り実施」が61.8%（前年比1.3pt減）、「実施しない」は26.0%（前年比3.6pt増）となっており、引き続き多くの大学が実施する予定ではあるものの、実施比率は下がる見込みになっている。

2022年6月に改正された「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（三省合意）を受けて現時点で実施している内容は、「学生への周知」が67.7%と最も高い結果となり多くの大学で学生への周知を行っていることがわかる。次点では「授業・プログラム等の名称や内容の変更」の23.9%となり約1/4の大学、キャンパスで学内の各所との調整・連携が必要となるであろう対応に尽力をしている様子が見える。

また、今後実施する予定の取り組みでは、既に実施比率の高い「学生への周知」「授業・プログラム等の名称や内容の変更」に加え、「タイプ2(キャリア教育)の拡充」が19.4%、「タイプ3(汎用的能力・専門活用型インターンシップ)の拡充」が18.3%と続いた。大学3年生・大学院1年生にインターンシップ等で期待することとして、「なるべく幅広い業界・企業のインターンシップ等への参加」が71.5%と最も高かった。次いで「学生の専攻に関連した業界・企業のインターンシップ等への参加」が36.7%、「タイプ3(汎用的能力インターンシップ)への参加」が34.4%、「タイプ1(オープン・カンパニー)への参加」が32.9%と続いた。

### 【2024年卒実績】単位認定型インターンシップを実施しましたか

	全体 (n=592)	国公立 (n=134)	私立 (n=458)	北海道・東 北(n=73)	関東 (n=200)	甲信越・北 陸(n=46)	東海(n=50)	関西 (n=110)	中国・四国 (n=50)	九州・沖縄 (n=63)	参考:前年 調査
例年通り実施	62.7%	62.7%	62.7%	63.0%	58.0%	69.6%	72.0%	56.4%	72.0%	68.3%	58.8%
規模を縮小して実施	4.2%	3.0%	4.6%	2.7%	7.0%	-	4.0%	3.6%	2.0%	3.2%	3.5%
規模を拡大して実施	0.2%	-	0.2%	-	0.5%	-	-	-	-	-	0.8%
実施しなかった	28.7%	29.1%	28.6%	28.8%	29.5%	30.4%	20.0%	35.5%	22.0%	25.4%	29.2%
その他	4.2%	5.2%	3.9%	5.5%	5.0%	-	4.0%	4.5%	4.0%	3.2%	7.7%

### 【2025年卒予定】単位認定型インターンシップを実施する予定ですか

	全体 (n=592)	国公立 (n=134)	私立 (n=458)	北海道・東 北(n=73)	関東 (n=200)	甲信越・北 陸(n=46)	東海(n=50)	関西 (n=111)	中国・四国 (n=50)	九州・沖縄 (n=62)	参考:前年 調査
例年通り実施	61.8%	59.0%	62.7%	65.8%	59.0%	63.0%	68.0%	55.0%	72.0%	64.5%	63.1%
規模を縮小して実施	2.9%	3.0%	2.8%	-	4.0%	-	2.0%	4.5%	-	4.8%	1.3%
規模を拡大して実施	1.7%	3.0%	1.3%	-	1.0%	2.2%	2.0%	1.8%	4.0%	3.2%	2.0%
実施しない	26.0%	27.6%	25.5%	27.4%	28.5%	30.4%	20.0%	30.6%	16.0%	17.7%	22.4%
まだ決まっていない	2.9%	2.2%	3.1%	1.4%	2.5%	4.3%	2.0%	1.8%	2.0%	8.1%	5.4%
その他	4.7%	5.2%	4.6%	5.5%	5.0%	-	6.0%	6.3%	6.0%	1.6%	5.8%

### インターンシップの推進に当たっての基本的考え方（三省合意）を受けての取り組みの実施

#### 【現時点での実施】(複数回答)

	全体 (n=573)	国公立 (n=133)	私立 (n=440)	北海道・東 北(n=69)	関東 (n=191)	甲信越・北 陸(n=46)	東海(n=46)	関西 (n=108)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=62)
学生への周知	67.7%	69.9%	67.0%	63.8%	73.3%	69.6%	69.6%	59.3%	72.5%	62.9%
授業・プログラム等の名称や内容の変更	23.9%	23.3%	24.1%	21.7%	26.2%	17.4%	21.7%	25.0%	29.4%	19.4%
タイプ3(汎用的能力・専門活用型インターンシップ)の拡充	9.6%	6.8%	10.5%	10.1%	12.0%	8.7%	6.5%	8.3%	11.8%	4.8%
タイプ2(キャリア教育)の拡充	9.4%	6.8%	10.2%	2.9%	9.9%	8.7%	10.9%	10.2%	11.8%	11.3%
学生による評価収集・検証	3.5%	0.8%	4.3%	2.9%	4.7%	-	-	2.8%	2.0%	8.1%
現時点で実施していることはない	24.3%	26.3%	23.6%	30.4%	18.3%	23.9%	26.1%	27.8%	15.7%	35.5%

#### 【今後実施予定】(複数回答)

	全体 (n=557)	国公立 (n=128)	私立 (n=429)	北海道・東 北(n=68)	関東 (n=187)	甲信越・北 陸(n=45)	東海(n=43)	関西 (n=105)	中国・四国 (n=50)	九州・沖縄 (n=59)
学生への周知	65.4%	68.8%	64.3%	54.4%	72.2%	55.6%	62.8%	63.8%	70.0%	64.4%
授業・プログラム等の名称や内容の変更	30.7%	25.0%	32.4%	32.4%	31.6%	24.4%	23.3%	37.1%	30.0%	25.4%
タイプ2(キャリア教育)の拡充	19.4%	13.3%	21.2%	14.7%	17.1%	22.2%	23.3%	22.9%	18.0%	22.0%
タイプ3(汎用的能力・専門活用型インターンシップ)の拡充	18.3%	10.9%	20.5%	16.2%	19.8%	20.0%	18.6%	16.2%	16.0%	20.3%
学生による評価収集・検証	8.8%	2.3%	10.7%	2.9%	9.1%	8.9%	11.6%	8.6%	8.0%	13.6%
今後取り組む予定はない	17.2%	19.5%	16.6%	26.5%	15.0%	15.6%	16.3%	18.1%	10.0%	20.3%

### 大学3年生・大学院1年生に対してインターンシップ等で期待すること

#### 【今後実施予定】(複数回答)

	全体 (n=572)	国公立 (n=131)	私立 (n=441)	北海道・東 北(n=71)	関東 (n=193)	甲信越・北 陸(n=45)	東海(n=44)	関西 (n=106)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=62)
なるべく幅広い業界・企業のインターンシップ等への参加	71.5%	54.2%	76.6%	66.2%	73.1%	66.7%	70.5%	75.5%	74.5%	67.7%
学生の専攻に関連した業界・企業のインターンシップ等への参加	36.7%	33.6%	37.6%	31.0%	35.8%	42.2%	45.5%	38.7%	29.4%	38.7%
タイプ3(汎用的能力インターンシップ)への参加	34.4%	27.5%	36.5%	31.0%	33.7%	35.6%	45.5%	32.1%	35.3%	35.5%
タイプ1(オープン・カンパニー)への参加	32.9%	17.6%	37.4%	25.4%	32.6%	33.3%	36.4%	33.0%	37.3%	35.5%
タイプ2(キャリア教育)への参加	24.0%	19.1%	25.4%	23.9%	17.1%	26.7%	34.1%	21.7%	27.5%	37.1%
タイプ3(専門活用型インターンシップ)への参加	16.4%	19.8%	15.4%	15.5%	17.6%	24.4%	4.5%	15.1%	13.7%	21.0%
タイプ4(高度専門型インターンシップ)への参加	2.8%	4.6%	2.3%	1.4%	1.6%	6.7%	-	4.7%	3.9%	3.2%
その他	2.4%	3.1%	2.3%	2.8%	4.7%	-	2.3%	0.9%	2.0%	-
特に設定しているものはない	14.7%	26.7%	11.1%	21.1%	12.4%	22.2%	6.8%	14.2%	11.8%	17.7%

(5) 大学で行っている就職支援について

人事担当者がキャリアセンターに求人票を〔直接持参〕した企業数は「増えた」が53.4%（前年比14.1pt増）と大幅に増え、逆に「減った」は5.3%（前年比12.9pt減）と求人票の提出は増加している。また、求人票を〔WEB提出〕した企業数も「増えた」が49.9%（前年比13.7pt増）と増加傾向にあり、企業の採用意欲の高さと推察される。

人事担当者がキャリアセンターに求人（票）を〔直接持参〕した企業数の増減

	全体 (n=601)	国公立 (n=140)	私立 (n=461)	北海道・東 北(n=76)	関東 (n=209)	甲信越・北 陸(n=43)	東海(n=51)	関西 (n=110)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=64)	参考:前年 調査
増えた	53.4%	41.4%	57.0%	52.6%	53.6%	53.5%	66.7%	42.7%	68.8%	50.0%	39.3%
前年度並み	41.3%	52.9%	37.7%	44.7%	41.6%	39.5%	29.4%	49.1%	25.0%	45.3%	42.5%
減った	5.3%	5.7%	5.2%	2.6%	4.8%	7.0%	3.9%	8.2%	6.3%	4.7%	18.2%

人事担当者がキャリアセンターに求人（票）を〔WEB提出〕した企業数の増減

	全体 (n=442)	国公立 (n=131)	私立 (n=442)	北海道・東 北(n=74)	関東 (n=196)	甲信越・北 陸(n=42)	東海(n=49)	関西 (n=105)	中国・四国 (n=46)	九州・沖縄 (n=61)	参考:前年 調査
増えた	49.9%	44.3%	51.6%	50.0%	48.5%	47.6%	69.4%	42.9%	54.3%	49.2%	36.2%
前年度並み	47.6%	54.2%	45.7%	48.6%	50.0%	47.6%	30.6%	52.4%	43.5%	47.5%	57.7%
減った	2.4%	1.5%	2.7%	1.4%	1.5%	4.8%	-	4.8%	2.2%	3.3%	6.2%

学校から企業に求人（票送付）の依頼を開始する時期（WEB受付含む）

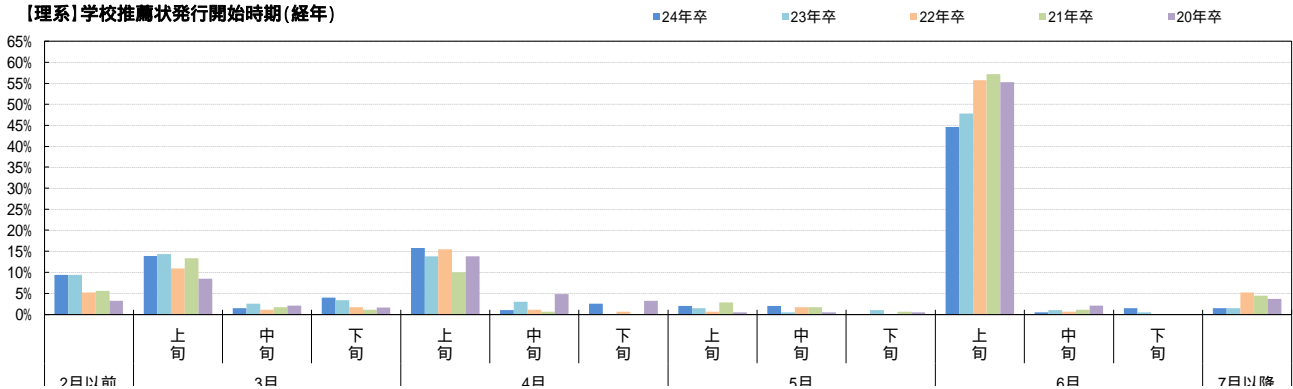
	全体 (n=579)	国公立 (n=135)	私立 (n=444)	北海道・東 北(n=72)	関東 (n=199)	甲信越・北 陸(n=42)	東海(n=48)	関西 (n=108)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=61)	参考:前年 調査
求人（票）の依頼はしない	42.7%	63.7%	36.3%	51.4%	43.2%	59.5%	39.6%	33.3%	32.7%	45.9%	39.4%
2022年9月以前	2.8%	3.0%	2.7%	2.8%	2.5%	2.4%	2.1%	2.8%	2.0%	4.9%	3.4%
2022年10月	1.9%	0.7%	2.3%	-	1.5%	-	2.1%	5.6%	2.0%	-	3.1%
2022年11月	2.8%	1.5%	3.2%	-	3.0%	4.8%	4.2%	3.7%	4.1%	-	2.1%
2022年12月	11.1%	11.1%	11.0%	6.9%	9.0%	19.0%	8.3%	8.3%	22.4%	14.8%	10.8%
2023年1月	13.0%	3.0%	16.0%	8.3%	12.1%	9.5%	16.7%	21.3%	14.3%	4.9%	14.9%
2023年2月	12.4%	2.2%	15.5%	8.3%	14.6%	4.8%	16.7%	13.0%	4.1%	18.0%	13.1%
2023年3月	9.3%	12.6%	8.3%	13.9%	11.1%	-	6.3%	8.3%	12.2%	6.6%	8.2%
2023年4月	1.4%	1.5%	1.4%	1.4%	1.5%	-	4.2%	0.9%	-	1.6%	1.5%
2023年5月	0.3%	-	0.5%	1.4%	-	-	-	-	-	1.6%	0.8%
2023年6月	0.9%	0.7%	0.9%	1.4%	-	-	-	1.9%	2.0%	1.6%	1.3%
2023年7月以降	1.6%	-	2.0%	4.2%	1.5%	-	-	0.9%	4.1%	-	1.1%

【理系】学校推薦状発行開始時期

推薦状を発行する予定の学校のみ集計

		全体 (n=202)	国公立 (n=58)	私立 (n=144)	北海道・東北 (n=16)	関東(n=80)	甲信越・北陸 (n=19)	東海(n=16)	関西(n=29)	中国・四国 (n=19)	九州・沖縄 (n=23)	参考:前年 調査
2023年2月以前		9.4%	12.1%	8.3%	6.3%	10.0%	31.6%	6.3%	3.4%	5.3%	4.3%	9.4%
3月	上旬	13.9%	12.1%	14.6%	18.8%	13.8%	10.5%	12.5%	17.2%	15.8%	8.7%	14.3%
	中旬	1.5%	-	2.1%	-	2.5%	-	-	3.4%	-	-	2.5%
	下旬	4.0%	8.6%	2.1%	25.0%	1.3%	-	6.3%	3.4%	-	4.3%	3.4%
4月	上旬	15.8%	17.2%	15.3%	6.3%	10.0%	15.8%	31.3%	13.8%	15.8%	34.8%	13.8%
	中旬	1.0%	-	1.4%	-	-	-	6.3%	-	-	4.3%	3.0%
	下旬	2.5%	1.7%	2.8%	-	5.0%	-	-	-	-	4.3%	-
5月	上旬	2.0%	3.4%	1.4%	6.3%	2.5%	-	-	-	-	4.3%	1.5%
	中旬	2.0%	-	2.8%	-	2.5%	-	-	6.9%	-	-	0.5%
	下旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0%
6月	上旬	44.4%	36.2%	47.9%	37.5%	48.8%	36.8%	31.3%	48.3%	57.9%	34.8%	47.8%
	中旬	0.5%	1.7%	-	-	1.3%	-	-	-	-	-	1.0%
	下旬	1.5%	1.7%	1.4%	-	1.3%	-	-	3.4%	5.3%	-	0.5%
7月以降		1.5%	5.2%	-	-	1.3%	5.3%	6.3%	-	-	-	1.5%
3月以前の合計		28.8%	32.8%	27.1%	50.1%	27.6%	42.1%	25.1%	27.4%	21.1%	17.3%	29.6%

【理系】学校推薦状発行開始時期(経年)



【理系】学部生において学校推薦を使って就職先決定をしている件数

【23年卒と比べての増減】

	全体 (n=166)	国公立 (n=55)	私立 (n=111)	北海道・東北 (n=20)	関東(n=61)	甲信越・北陸 (n=10)	東海(n=9)	関西(n=26)	中国・四国 (n=15)	九州・沖縄 (n=25)
増えた	13.3%	14.5%	12.6%	15.0%	13.1%	20.0%	33.3%	7.7%	-	16.0%
前年度並み	73.5%	78.2%	71.2%	70.0%	72.1%	70.0%	55.6%	73.1%	100.0%	72.0%
減った	13.3%	7.3%	16.2%	15.0%	14.8%	10.0%	11.1%	19.2%	-	12.0%

【就職希望者数を母数としたときの割合】

	全体 (n=184)	国公立 (n=48)	私立 (n=136)	北海道・東北 (n=25)	関東(n=65)	甲信越・北陸 (n=11)	東海(n=9)	関西(n=35)	中国・四国 (n=16)	九州・沖縄 (n=23)
10割	9.2%	4.2%	11.0%	12.0%	9.2%	-	11.1%	11.4%	6.3%	8.7%
8~9割	10.3%	8.3%	11.0%	4.0%	4.6%	9.1%	22.2%	22.9%	12.5%	8.7%
6~7割	5.4%	4.2%	5.9%	8.0%	6.2%	18.2%	-	5.7%	-	-
4~5割	4.3%	8.3%	2.9%	-	3.1%	9.1%	11.1%	2.9%	-	13.0%
2~3割	13.6%	22.9%	10.3%	4.0%	15.4%	27.3%	-	14.3%	12.5%	17.4%
1割以下	57.1%	52.1%	58.8%	72.0%	61.5%	36.4%	55.6%	42.9%	68.8%	52.2%

就職ガイダンス、業界研究セミナー、学内企業説明会のWEB・対面の比率は、共通して【WEB開催】が減り、【対面開催】が増えるという結果となった。中でも就職ガイダンスは【対面開催9割以上】が51.9%（前年比18.5pt増）と大きく増えた。エリアで見ると（関東）の就職ガイダンスの【WEB開催9割以上】は28.2%（全体平均17.5%）とWEB開催比率が非常に高く、他エリアと差が明確に表れた。学生の相談は【対面開催9割以上】が48.6%、【やや対面の方が多い（対面開催6～9割）】が33.7%と高く、ほぼ対面に戻っているようだ。内定の見通しについては「上がりそう」が28.0%（前年比3.6pt増）と、学生の見通しは明るそうだ。

### 就職ガイダンス、業界研究セミナー、学内企業説明会、学生相談のWEBと対面の比率

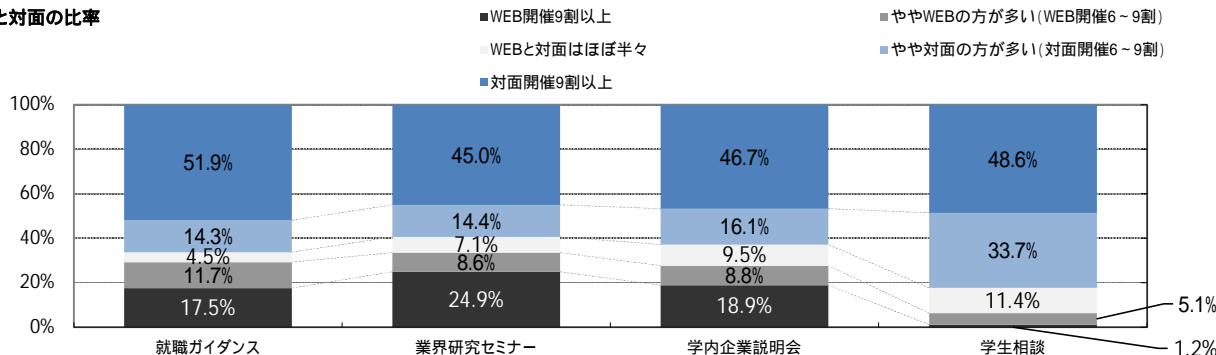
就職ガイダンス	全体 (n=572)	国公立 (n=138)	私立 (n=434)	北海道・東北 (n=69)	関東 (n=195)	甲信越・北陸 (n=44)	東海(n=49)	関西 (n=104)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=63)	参考:前年調査
WEB開催9割以上	17.5%	29.0%	13.8%	18.8%	28.2%	13.6%	8.2%	11.5%	10.4%	7.9%	35.7%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	11.7%	12.3%	11.5%	7.2%	19.0%	13.6%	10.2%	6.7%	4.2%	7.9%	10.6%
WEBと対面はほぼ半々	4.5%	5.8%	4.1%	1.4%	2.1%	6.8%	8.2%	7.7%	4.2%	6.3%	8.6%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	14.3%	11.6%	15.2%	15.9%	13.8%	13.6%	8.2%	16.3%	16.7%	14.3%	11.7%
対面開催9割以上	51.9%	41.3%	55.3%	56.5%	36.9%	52.3%	65.3%	57.7%	64.6%	63.5%	33.4%

業界研究セミナー	全体 (n=478)	国公立 (n=109)	私立 (n=369)	北海道・東北 (n=55)	関東 (n=165)	甲信越・北陸 (n=38)	東海(n=37)	関西(n=90)	中国・四国 (n=43)	九州・沖縄 (n=50)	参考:前年調査
WEB開催9割以上	24.9%	28.4%	23.8%	18.2%	38.2%	13.2%	13.5%	24.4%	16.3%	14.0%	48.5%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	8.6%	7.3%	8.9%	5.5%	15.8%	5.3%	8.1%	5.6%	2.3%	2.0%	9.3%
WEBと対面はほぼ半々	7.1%	15.6%	4.6%	16.4%	3.6%	5.3%	5.4%	7.8%	4.7%	12.0%	7.1%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	14.4%	14.7%	14.4%	10.9%	10.3%	18.4%	8.1%	17.8%	18.6%	24.0%	8.2%
対面開催9割以上	45.0%	33.9%	48.2%	49.1%	32.1%	57.9%	64.9%	44.4%	58.1%	48.0%	26.8%

学内企業説明会	全体 (n=514)	国公立 (n=120)	私立 (n=394)	北海道・東北 (n=62)	関東 (n=178)	甲信越・北陸 (n=37)	東海(n=42)	関西(n=89)	中国・四国 (n=46)	九州・沖縄 (n=60)	参考:前年調査
WEB開催9割以上	18.9%	28.3%	16.0%	14.5%	30.9%	10.8%	9.5%	13.5%	10.9%	13.3%	41.4%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	8.8%	9.2%	8.6%	4.8%	12.4%	2.7%	2.4%	13.5%	2.2%	8.3%	11.0%
WEBと対面はほぼ半々	9.5%	13.3%	8.4%	16.1%	10.1%	5.4%	7.1%	9.0%	8.7%	6.7%	10.3%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	16.1%	16.7%	16.0%	16.1%	11.8%	18.9%	16.7%	18.0%	21.7%	20.0%	11.6%
対面開催9割以上	46.7%	32.5%	51.0%	48.4%	34.8%	62.2%	64.3%	46.1%	56.5%	51.7%	25.7%

学生相談	全体 (n=572)	国公立 (n=137)	私立 (n=435)	北海道・東北 (n=70)	関東 (n=193)	甲信越・北陸 (n=45)	東海(n=48)	関西 (n=104)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=63)	参考:前年調査
WEB開催9割以上	1.2%	2.9%	0.7%	-	2.1%	2.2%	-	1.0%	2.0%	-	6.0%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	5.1%	6.6%	4.6%	2.9%	10.4%	-	-	2.9%	-	6.3%	11.4%
WEBと対面はほぼ半々	11.4%	13.9%	10.6%	11.4%	17.1%	4.4%	8.3%	12.5%	2.0%	6.3%	18.4%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	33.7%	36.5%	32.9%	34.3%	34.7%	31.1%	37.5%	33.7%	38.8%	25.4%	30.7%
対面開催9割以上	48.6%	40.1%	51.3%	51.4%	35.8%	62.2%	54.2%	50.0%	57.1%	61.9%	33.5%

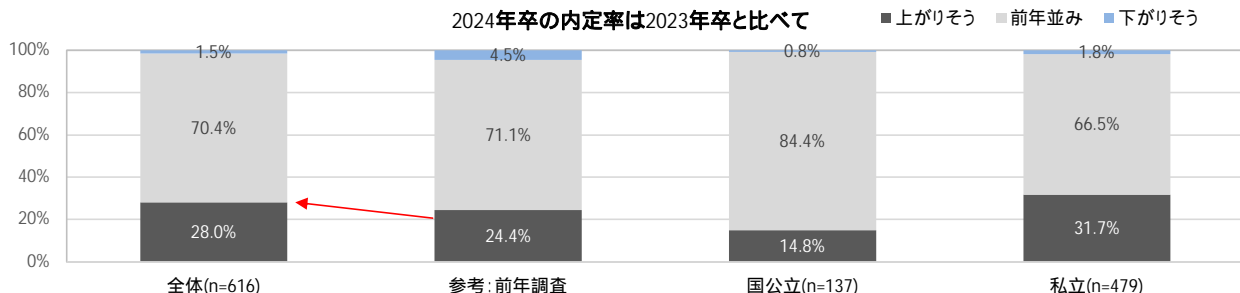
WEBと対面の比率



### 2024年卒学生の内定率は2023年卒と比べて

	全体 (n=582)	国公立 (n=128)	私立 (n=454)	北海道・東北 (n=72)	関東 (n=201)	甲信越・北陸 (n=43)	東海(n=50)	関西 (n=106)	中国・四国 (n=47)	九州・沖縄 (n=63)	参考:前年調査
上がりそう	28.0%	14.8%	31.7%	22.2%	36.8%	11.6%	20.0%	23.6%	21.3%	36.5%	24.4%
前年並み	70.4%	84.4%	66.5%	77.8%	61.7%	81.4%	78.0%	75.5%	76.6%	63.5%	71.1%
下がりそう	1.5%	0.8%	1.8%	-	1.5%	7.0%	2.0%	0.9%	2.1%	-	4.5%

2024年卒の内定率は2023年卒と比べて



データサイエンス系の専門人材が今後不足する可能性が報道等で示唆されている中で、データサイエンス関連で実施しているものを聞いたところ、「データサイエンス関連の企業・仕事を紹介している」が8.4%、次いで「キャリア・就職ガイダンスのテーマにしている」が5.3%となった。国立大学と私立大学で分けてみると「データサイエンス関連の企業・仕事を紹介している」は国立大学が4.5%、私立大学が9.6%となり私立大学の実施率が高いことがわかった。対話型AIを就職活動に使う事についてどのように伝えていくかは「補助的な用途であれば賛成である」が53.0%と最も多い回答となった。

### データサイエンス関連で実施しているもの(複数回答)

	全体 (n=570)	国立 (n=134)	私立 (n=436)	北海道・東 北(n=69)	関東 (n=194)	甲信越・北 陸(n=43)	東海(n=46)	関西 (n=107)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=62)
データサイエンス関連の企業・仕事を紹介している	8.4%	4.5%	9.6%	5.8%	9.3%	2.3%	4.3%	10.3%	10.2%	11.3%
キャリア・就職ガイダンスのテーマにしている	5.3%	2.2%	6.2%	2.9%	6.7%	4.7%	2.2%	5.6%	2.0%	8.1%
データサイエンス関連のe-learningを実施している	1.9%	0.7%	2.3%	4.3%	2.1%	2.3%	-	1.9%	-	1.6%
その他	3.0%	4.5%	2.5%	1.4%	3.6%	-	6.5%	0.9%	-	8.1%
実施はないが実施可能性はある	42.8%	38.8%	44.0%	47.8%	46.4%	46.5%	39.1%	34.6%	46.9%	37.1%
実施も実施可能性もない	42.3%	50.0%	39.9%	42.0%	35.6%	46.5%	50.0%	52.3%	42.9%	37.1%

### 対話形式で生成系AIが質問に答えるサービスについて、学生が就職活動に利用することに伝えていること

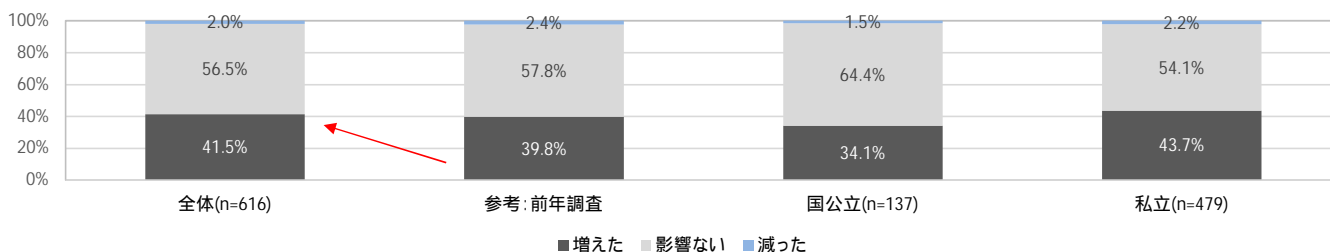
	全体 (n=575)	国立 (n=130)	私立 (n=445)	北海道・東 北(n=70)	関東 (n=193)	甲信越・北 陸(n=44)	東海(n=48)	関西 (n=109)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=63)
いかなる用途であっても活用し賛成である	1.4%	0.8%	1.6%	2.9%	1.6%	2.3%	2.1%	-	-	1.6%
補助的な用途であれば賛成である	53.0%	41.5%	56.4%	47.1%	54.4%	36.4%	52.1%	63.3%	58.3%	46.0%
いかなる用途であっても活用し反対である	1.0%	0.8%	1.1%	-	2.6%	2.3%	-	-	-	-
わからない	44.5%	56.9%	40.9%	50.0%	41.5%	59.1%	45.8%	36.7%	41.7%	52.4%

24年卒のキャリアセンターの負荷は23年卒と比べて聞いたところ、「前年度並み」が最多の56.5%(前年比1.3pt減)、「増えた」は41.5%(前年比1.7pt増)、「減った」は2.0%(前年比0.4pt減)となった。「前年度並み」が最多ではあるが、「増えた」も41.0%と高い数値となっており前年よりも増えている。負荷を解消すべき業務としては、「学生面談」が最多で35.0%、次いで「企業等の来校への対応」が31.3%、「学内企業説明会の運営」が29.7%、「インターンシップ等の運営」が28.8%、「学内就職ガイダンスの運営」が27.5%となった。「学生面談」と「企業等の来校への対応」に関しては新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う影響であると推察するが、学生1人につき数十分～1時間など相談枠を設けることを考えると、個に寄り添った支援と、負荷を解消するための仕組み化のバランスは今後も課題のひとつと言えそうだ。

### キャリアセンターの負荷は2023年卒と比べて

	全体 (n=586)	国立 (n=135)	私立 (n=451)	北海道・東 北(n=71)	関東 (n=201)	甲信越・北 陸(n=45)	東海(n=50)	関西 (n=108)	中国・四国 (n=49)	九州・沖縄 (n=62)	参考:前年 調査
増えた	41.5%	34.1%	43.7%	36.6%	37.3%	48.9%	42.0%	47.2%	42.9%	43.5%	39.8%
前年度並み	56.5%	64.4%	54.1%	60.6%	59.2%	51.1%	58.0%	51.9%	55.1%	54.8%	57.8%
減った	2.0%	1.5%	2.2%	2.8%	3.5%	-	-	0.9%	2.0%	1.6%	2.4%

### キャリアセンターの負荷は2023年卒と比べて



### 現状負荷がかかっており、負荷を解消すべき業務(複数回答)

	全体 (n=546)	国立 (n=123)	私立 (n=423)	北海道・東 北(n=64)	関東 (n=186)	甲信越・北 陸(n=44)	東海(n=44)	関西 (n=103)	中国・四国 (n=47)	九州・沖縄 (n=58)
学生面談	35.0%	23.6%	38.3%	29.7%	31.7%	43.2%	31.8%	35.9%	51.1%	32.8%
企業等の来校への対応	31.3%	32.5%	31.0%	42.2%	37.6%	20.5%	22.7%	15.5%	38.3%	36.2%
学内企業説明会の運営	29.7%	24.4%	31.2%	28.1%	32.8%	31.8%	15.9%	25.2%	27.7%	39.7%
インターンシップ等の運営	28.8%	25.2%	29.8%	26.6%	31.2%	22.7%	27.3%	21.4%	36.2%	36.2%
学内就職ガイダンスの運営	27.5%	21.1%	29.3%	21.9%	29.6%	27.3%	25.0%	24.3%	36.2%	27.6%
教員との連携	20.3%	20.3%	20.3%	17.2%	22.6%	15.9%	13.6%	18.4%	19.1%	29.3%
職員のスキルアップ	15.6%	11.4%	16.8%	9.4%	19.4%	6.8%	13.6%	12.6%	27.7%	13.8%
年間の方針・施策・スケジュール決め	14.1%	12.2%	14.7%	10.9%	16.7%	18.2%	18.2%	8.7%	17.0%	10.3%
他部署との連携	12.1%	13.0%	11.8%	7.8%	16.1%	13.6%	11.4%	5.8%	14.9%	12.1%
新規企業開拓	9.9%	6.5%	10.9%	4.7%	11.3%	9.1%	9.1%	11.7%	10.6%	8.6%
授業の運営	9.7%	4.9%	11.1%	12.5%	9.7%	13.6%	6.8%	9.7%	8.5%	6.9%
卒業生との連携	9.3%	7.3%	9.9%	6.3%	12.4%	15.9%	6.8%	6.8%	6.4%	6.9%
内定者フォロー	7.3%	4.9%	8.0%	6.3%	10.8%	11.4%	11.4%	2.9%	-	5.2%
予算管理	4.4%	4.9%	4.3%	3.1%	4.8%	11.4%	-	3.9%	4.3%	3.4%
その他	10.3%	13.0%	9.5%	12.5%	9.7%	6.8%	15.9%	2.9%	14.9%	17.2%
特に負荷を解消すべき業務はない	17.6%	24.4%	15.6%	21.9%	15.6%	15.9%	22.7%	21.4%	4.3%	20.7%



これから最も力を入れていくキャリアセンターのミッションは前年に引き続き、「学生個々人の満足度向上」が52.5%と最も高い数値となり、前年より4.0pt増えている。次いで「就職希望者に占める就職率の向上」が23.6%（前年比1.0pt減）となっている。ミッションを目指すうえで注力施策（複数回答可）の上位6つは「キャリアセンターの利用率向上」64.3%、「学内ガイダンスの動員増」48.6%、「低学年へのキャリア支援の強化」45.4%、「学内企業説明会の動員増」43.9%、「職員のスキルアップ」41.6%、「個別面談の件数増」41.4%となった。全て40%を超える数値となっており、多くの学校で注力施策を実施していることがわかる。

さらにその中で、最も注力している施策を聞いたところ、実施率で最多になった「キャリアセンターの利用率向上」が27.5%と注力施策でも最多であるが、2位は「低学年へのキャリア支援の強化」が12.3%で、3位が「学生のスキル・マインド向上」が10.4%となった。「低学年へのキャリア支援の強化」は「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（三省合意）においても就職活動年次のみならず、全学年でのキャリア形成支援の重要性に触れられているが、注力施策として支援強化をしている大学が多いことがわかった。

### キャリアセンターのミッションでこれから最も力を入れたいテーマ

	全体 (n=564)	国公立 (n=130)	私立 (n=434)	北海道・東 北(n=65)	関東 (n=198)	甲信越・北 陸(n=41)	東海(n=47)	関西 (n=105)	中国・四国 (n=46)	九州・沖縄 (n=62)	参考:前年 調査
学生個々人の満足度向上	52.5%	54.6%	51.8%	53.8%	48.5%	46.3%	59.6%	49.5%	65.2%	58.1%	48.5%
就職希望者に占める就職率の向上	23.6%	19.2%	24.9%	20.0%	28.8%	24.4%	12.8%	26.7%	13.0%	21.0%	24.6%
大企業への就職人数の増加	9.0%	3.8%	10.6%	3.1%	11.6%	2.4%	12.8%	12.4%	4.3%	6.5%	9.7%
特定業種（公務員等）への就職人数の増加	5.3%	6.2%	5.1%	9.2%	3.5%	12.2%	12.8%	4.8%	2.2%	-	5.3%
地域企業への就職人数の増加	4.4%	10.8%	2.5%	7.7%	1.5%	7.3%	2.1%	2.9%	10.9%	8.1%	6.7%
その他	5.1%	5.4%	5.1%	6.2%	6.1%	7.3%	-	3.8%	4.3%	6.5%	5.3%

### ミッションを目指すうえで注力している施策（複数回答）

	全体 (n=560)	国公立 (n=126)	私立 (n=434)	北海道・東 北(n=63)	関東 (n=198)	甲信越・北 陸(n=40)	東海(n=46)	関西 (n=104)	中国・四国 (n=47)	九州・沖縄 (n=62)
キャリアセンターの利用率向上	64.3%	50.0%	68.4%	47.6%	66.7%	47.5%	60.9%	76.0%	57.4%	72.6%
学内ガイダンスの動員増	48.6%	48.4%	48.6%	33.3%	50.0%	50.0%	39.1%	55.8%	48.9%	53.2%
低学年へのキャリア支援の強化	45.4%	35.7%	48.2%	47.6%	43.4%	35.0%	43.5%	51.9%	36.2%	53.2%
学内企業説明会の動員増	43.9%	43.7%	44.0%	38.1%	46.5%	42.5%	32.6%	45.2%	48.9%	45.2%
職員のスキルアップ	41.6%	27.0%	45.9%	41.3%	41.4%	35.0%	37.0%	42.3%	44.7%	46.8%
個別面談の件数増	41.4%	36.5%	42.9%	27.0%	41.9%	37.5%	37.0%	46.2%	42.6%	51.6%
学生のスキル・マインド向上	39.5%	31.7%	41.7%	42.9%	37.4%	47.5%	37.0%	45.2%	34.0%	33.9%
教職員・他部署との連携	35.9%	36.5%	35.7%	42.9%	33.3%	40.0%	26.1%	39.4%	36.2%	35.5%
新規企業開拓	20.5%	16.7%	21.7%	9.5%	23.2%	17.5%	17.4%	24.0%	21.3%	21.0%
外部の企業・団体等との連携	19.8%	19.8%	19.8%	22.2%	16.7%	25.0%	13.0%	21.2%	23.4%	24.2%
学内インターンシップ等の動員増	17.5%	15.9%	18.0%	19.0%	19.7%	10.0%	8.7%	18.3%	17.0%	19.4%
特定の業界・職種・企業紹介の強化	16.8%	9.5%	18.9%	11.1%	22.7%	15.0%	10.9%	21.2%	12.8%	4.8%
学生への連絡ツール増（チャット・SNS・はがきなど）	15.2%	16.7%	14.7%	14.3%	14.1%	12.5%	23.9%	11.5%	14.9%	21.0%
特定の業界・職種・企業の選考対策の強化	12.1%	7.1%	13.6%	6.3%	15.7%	15.0%	15.2%	13.5%	8.5%	3.2%
他大学と連携し学生交流の強化	8.9%	4.8%	10.1%	9.5%	11.6%	5.0%	6.5%	7.7%	8.5%	6.5%
キャリアコンサルタントの人数増	8.2%	5.6%	9.0%	11.1%	9.1%	7.5%	4.3%	10.6%	4.3%	4.8%
その他	4.1%	4.0%	4.1%	7.9%	4.5%	-	2.2%	2.9%	6.4%	3.2%

### ミッションを目指すうえで最も注力している施策

	全体 (n=546)	国公立 (n=120)	私立 (n=426)	北海道・東 北(n=62)	関東 (n=193)	甲信越・北 陸(n=41)	東海(n=45)	関西 (n=100)	中国・四国 (n=47)	九州・沖縄 (n=58)
キャリアセンターの利用率向上	27.5%	25.0%	28.2%	19.4%	30.1%	17.1%	8.9%	40.0%	27.7%	27.6%
低学年へのキャリア支援の強化	12.3%	10.8%	12.7%	17.7%	10.9%	12.2%	15.6%	11.0%	8.5%	13.8%
学生のスキル・マインド向上	10.4%	10.0%	10.6%	8.1%	10.4%	19.5%	8.9%	11.0%	10.6%	6.9%
個別面談の件数増	8.8%	9.2%	8.7%	9.7%	6.2%	12.2%	17.8%	5.0%	8.5%	13.8%
学内ガイダンスの動員増	7.9%	10.0%	7.3%	8.1%	7.3%	7.3%	11.1%	8.0%	6.4%	8.6%
教職員・他部署との連携	5.9%	6.7%	5.6%	4.8%	5.2%	7.3%	2.2%	6.0%	8.5%	8.6%
学内企業説明会の動員増	5.7%	6.7%	5.4%	9.7%	5.7%	4.9%	6.7%	4.0%	4.3%	5.2%
職員のスキルアップ	4.8%	0.8%	5.9%	4.8%	3.1%	9.8%	6.7%	4.0%	4.3%	6.9%
特定の業界・職種・企業紹介の強化	2.9%	2.5%	3.1%	-	5.2%	-	2.2%	2.0%	2.1%	3.4%
外部の企業・団体等との連携	1.8%	2.5%	1.6%	3.2%	2.1%	2.4%	-	1.0%	4.3%	-
キャリアコンサルタントの人数増	1.6%	3.3%	1.2%	-	1.6%	-	-	3.0%	4.3%	1.7%
学生への連絡ツール増（チャット・SNS・はがきなど）	1.6%	2.5%	1.4%	1.6%	1.0%	2.4%	6.7%	-	2.1%	1.7%
新規企業開拓	1.6%	0.8%	1.9%	1.6%	3.1%	-	-	2.0%	-	-
特定の業界・職種・企業の選考対策の強化	1.6%	0.8%	1.9%	1.6%	0.5%	-	8.9%	1.0%	4.3%	-
学内インターンシップ等の動員増	1.5%	0.8%	1.6%	-	3.1%	2.4%	-	1.0%	-	-
他大学と連携し学生交流の強化	0.7%	1.7%	0.5%	1.6%	0.5%	2.4%	-	-	2.1%	-
その他	3.3%	5.8%	2.6%	8.1%	4.1%	-	4.4%	1.0%	2.1%	1.7%

### 最も注力している施策の具体的な内容

施策	エリア	学校区分	具体的な内容
キャリアセンターの利用率向上	中国	私立	低年次からの利用を促すため、イベントの低学年への開放や簡単な相談が出来る機会を提供するようにしている。
キャリアセンターの利用率向上	関東	国立	HP掲載、メールマガジン配信、学内掲示等、複数の媒体での周知
キャリアセンターの利用率向上	九州	私立	職員と教員が協力して学生一人一人に対してサポートをしている。
低学年へのキャリア支援の強化	関東	私立	卒業生の講演
低学年へのキャリア支援の強化	関東	私立	低学年向けキャリアガイドブックの発行、キャリアに関する授業とキャリアイベントの連動など。
低学年へのキャリア支援の強化	中国	公立	企業との連携強化
学生のスキル・マインド向上	九州	私立	学生の個性を活かし、独自性を引き出す支援の展開に注力
学生のスキル・マインド向上	九州	私立	2年次に幅広い業界から社会人を招き、学生との対談形式の「社会人交流会」を実施
個別面談の件数増	甲信越	公立	2年生後期に全員面談を実施
個別面談の件数増	東北	私立	キャリアコンサルタント等の資格取得者や学生対応経験者の中途採用の実施
教職員・他部署との連携	関東	私立	企業開拓やイベント実施など、教員の意見を吸い上げながら、学生の特徴にあわせて実施

キャリア支援・就職支援に関して、特に知りたいとおもう情報については、1位が「他大学の支援事例」74.4%、4位「企業の採用動向」49.1%となった。前年同様に変化への対応が求められる中で、企業や大学の具体的な事例や動向をキャッチしておきたいと推察される。2位は「低学年支援」で53.0%で前年3位よりランクアップした。前述のミッションを目指すうえでの最注力施策でも2位になったが、情報取得に関しても低学年支援は高い数値となった。3位は「学内イベントの動員対策」49.6%となった。

キャリア支援・就職支援に関して、特に知りたいとおもう情報(複数回答)

	全体 (n=593)	国公立 (n=140)	私立 (n=453)	北海道・東 北(n=72)	関東 (n=203)	甲信越・北 陸(n=46)	東海(n=49)	関西 (n=109)	中国・四国 (n=51)	九州・沖縄 (n=63)	参考:前年 調査
他大学の支援事例	74.4%	69.3%	75.9%	76.4%	77.8%	76.1%	63.3%	76.1%	72.5%	66.7%	78.4%
低学年支援	53.0%	40.0%	57.0%	56.9%	57.1%	45.7%	53.1%	55.0%	43.1%	44.4%	57.2%
学内イベントの動員対策	49.6%	55.0%	47.9%	48.6%	53.2%	54.3%	42.9%	44.0%	52.9%	47.6%	53.1%
企業の採用動向	49.1%	43.6%	50.8%	40.3%	53.2%	45.7%	57.1%	49.5%	51.0%	39.7%	63.4%
障がいがある学生支援	47.7%	44.3%	48.8%	48.6%	50.2%	37.0%	49.0%	49.5%	49.0%	41.3%	50.2%
後半動(層)への学生支援	45.9%	44.3%	46.4%	50.0%	50.7%	37.0%	46.9%	36.7%	43.1%	49.2%	55.2%
学生の就活動向	39.3%	44.3%	37.7%	43.1%	37.9%	37.0%	49.0%	38.5%	39.2%	34.9%	44.7%
人事の評価基準	38.8%	32.9%	40.6%	37.5%	39.9%	32.6%	49.0%	43.1%	33.3%	30.2%	50.2%
インターンシップ支援	35.2%	30.7%	36.6%	30.6%	36.9%	32.6%	44.9%	28.4%	39.2%	38.1%	51.4%
留学生支援	31.0%	27.1%	32.2%	29.2%	37.4%	30.4%	30.6%	26.6%	25.5%	25.4%	38.3%
DX推進	12.0%	11.4%	12.1%	12.5%	14.3%	8.7%	14.3%	7.3%	9.8%	14.3%	14.9%
オンライン就活	11.6%	11.4%	11.7%	16.7%	12.8%	10.9%	16.3%	6.4%	13.7%	6.3%	26.6%
理系学生支援	10.8%	15.7%	9.3%	9.7%	12.3%	10.9%	10.2%	8.3%	15.7%	7.9%	12.1%
体育会系学生支援	8.1%	0.7%	10.4%	8.3%	7.9%	10.9%	14.3%	5.5%	5.9%	7.9%	12.1%
保育学生支援	6.9%	5.0%	7.5%	6.9%	5.4%	4.3%	14.3%	7.3%	7.8%	6.3%	7.2%
メディカル系学生支援	6.7%	5.0%	7.3%	2.8%	8.4%	6.5%	6.1%	5.5%	3.9%	11.1%	8.4%
最新ナビサイト情報	6.4%	6.4%	6.4%	5.6%	7.9%	6.5%	8.2%	5.5%	2.0%	6.3%	10.0%
高大接続改革	4.2%	3.6%	4.4%	5.6%	4.4%	6.5%	6.1%	0.9%	3.9%	4.8%	4.5%
その他	2.7%	6.4%	1.5%	1.4%	2.5%	2.2%	2.0%	2.8%	3.9%	4.8%	3.5%
特になし	2.0%	5.0%	1.1%	1.4%	0.5%	6.5%	4.1%	-	3.9%	4.8%	1.1%

(6) 新卒紹介について

新卒紹介における各校の状況は、「希望学生に個別に案内している + 希望学生のための登録会を実施している + なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている」の割合が38.9% (前年比3.5pt減)となった。案内開始希望月は、「卒業・修了年次[前年]3月以前計」が55.9%と卒業・修了年次の[前年]を希望している。

新卒紹介における各校の状況

	全体 (n=583)	国公立 (n=137)	私立 (n=446)	北海道・東 北(n=67)	関東 (n=201)	甲信越・北 陸(n=46)	東海(n=49)	関西 (n=107)	中国・四国 (n=50)	九州・沖縄 (n=63)	参考・前年 調査
特に何もしていない	45.3%	64.2%	39.5%	68.7%	36.8%	60.9%	44.9%	34.6%	48.0%	52.4%	44.2%
情報は集めているが、学生には勧めていない	15.8%	10.9%	17.3%	10.4%	20.9%	17.4%	18.4%	12.1%	18.0%	6.3%	13.3%
希望学生に個別に案内している	23.0%	16.1%	25.1%	13.4%	22.9%	19.6%	28.6%	28.0%	18.0%	27.0%	24.7%
希望学生のための登録会を実施している	9.9%	7.3%	10.8%	3.0%	13.9%	2.2%	6.1%	17.8%	4.0%	4.8%	11.7%
なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている	6.0%	1.5%	7.4%	4.5%	5.5%	-	2.0%	7.5%	12.0%	9.5%	6.0%
希望学生に個別に案内している + 希望学生のための登録会を実施している + なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている	38.9%	24.9%	43.3%	20.9%	42.3%	21.8%	36.7%	53.3%	34.0%	41.3%	42.4%

新卒紹介の案内開始希望月

	全体 (n=360)	国公立 (n=61)	私立 (n=299)	北海道・東 北(n=33)	関東 (n=133)	甲信越・北 陸(n=24)	東海(n=26)	関西(n=81)	中国・四国 (n=28)	九州・沖縄 (n=35)	参考・前年 調査
卒業・修了年次[前年]5月以前	16.9%	24.6%	15.4%	18.2%	15.8%	29.2%	15.4%	12.3%	25.0%	17.1%	13.0%
卒業・修了年次[前年]6月	4.7%	3.3%	5.0%	6.1%	1.5%	4.2%	7.7%	6.2%	7.1%	8.6%	6.4%
卒業・修了年次[前年]7月	0.6%	-	0.7%	3.0%	-	-	-	1.2%	-	-	3.1%
卒業・修了年次[前年]8月	1.9%	-	2.3%	-	3.0%	4.2%	-	1.2%	-	2.9%	2.3%
卒業・修了年次[前年]9月	3.6%	1.6%	4.0%	3.0%	6.0%	4.2%	-	2.5%	3.6%	-	4.6%
卒業・修了年次[前年]10月	5.6%	3.3%	6.0%	-	6.0%	4.2%	7.7%	8.6%	-	5.7%	5.4%
卒業・修了年次[前年]11月	0.8%	1.6%	0.7%	3.0%	-	-	3.8%	-	-	2.9%	1.3%
卒業・修了年次[前年]12月	1.9%	3.3%	1.7%	-	0.8%	4.2%	-	3.7%	3.6%	2.9%	4.3%
卒業・修了年次[前年]1月	4.4%	3.3%	4.7%	3.0%	4.5%	4.2%	-	6.2%	3.6%	5.7%	4.1%
卒業・修了年次[前年]2月	3.6%	6.6%	3.0%	12.1%	1.5%	-	3.8%	2.5%	14.3%	-	3.1%
卒業・修了年次[前年]3月	11.9%	16.4%	11.0%	21.2%	9.8%	12.5%	3.8%	8.6%	14.3%	22.9%	12.0%
卒業・修了年次4月	7.5%	4.9%	8.0%	6.1%	6.8%	12.5%	11.5%	8.6%	-	8.6%	7.4%
卒業・修了年次5月	2.2%	-	2.7%	3.0%	2.3%	4.2%	-	1.2%	3.6%	2.9%	3.3%
卒業・修了年次6月	7.2%	14.8%	5.7%	-	6.0%	4.2%	15.4%	12.3%	3.6%	5.7%	5.4%
卒業・修了年次7月	5.6%	4.9%	5.7%	-	8.3%	-	11.5%	6.2%	-	2.9%	5.1%
卒業・修了年次8月	2.8%	3.3%	2.7%	6.1%	3.8%	-	-	2.5%	3.6%	-	3.6%
卒業・修了年次9月	4.2%	-	5.0%	6.1%	6.0%	-	7.7%	1.2%	3.6%	2.9%	4.6%
卒業・修了年次10月	6.7%	3.3%	7.4%	6.1%	5.3%	8.3%	7.7%	9.9%	3.6%	5.7%	5.1%
卒業・修了年次11月	0.8%	-	1.0%	-	1.5%	4.2%	-	-	-	-	1.0%
卒業・修了年次12月	1.9%	-	2.3%	-	5.3%	-	-	-	-	-	1.8%
卒業・修了年次1月	2.8%	1.6%	3.0%	-	3.0%	-	3.8%	3.7%	7.1%	-	1.3%
卒業・修了年次2月	1.1%	-	1.3%	-	2.3%	-	-	-	-	2.9%	0.5%
卒業・修了年次3月	1.1%	3.3%	0.7%	3.0%	0.8%	-	-	1.2%	3.6%	-	1.5%
卒業・修了年次[前年]3月以前計	55.9%	64.0%	54.5%	69.6%	48.9%	66.9%	42.2%	53.0%	71.5%	68.7%	59.6%

(7) 特定の学生に対する支援

外国人留学生

外国人留学生向けに実施しているプログラムは「外国人留学生向けの日本での就職活動に関するガイダンス」が61.5%で1位となった。次いで「エントリーシート添削」が51.8%、「模擬面接」が43.3%。コロナが明けて、外国人留学生も徐々に戻りつつある中、今後の課題として再度注目が集まりそうだ。

実施しているプログラム(複数回答)	全体 (n=423)	国公立 (n=92)	私立 (n=331)	北海道・東 北(n=45)	関東 (n=163)	甲信越・北 陸(n=25)	東海(n=36)	関西(n=76)	中国・四国 (n=31)	九州・沖縄 (n=47)	参考:前年 調査
外国人留学生向けの日本での就職活動に関するガイダンス	61.5%	52.2%	64.0%	44.4%	73.0%	40.0%	61.1%	63.2%	45.2%	57.4%	66.8%
エントリーシート添削	51.8%	39.1%	55.3%	42.2%	55.2%	60.0%	52.8%	44.7%	51.6%	55.3%	61.4%
模擬面接	43.3%	33.7%	45.9%	35.6%	46.6%	52.0%	36.1%	42.1%	45.2%	40.4%	51.2%
専任担当による個別相談	33.6%	27.2%	35.3%	31.1%	39.9%	16.0%	13.9%	31.6%	35.5%	40.4%	40.7%
就職活動マナー講座	29.1%	29.3%	29.0%	31.1%	28.2%	28.0%	33.3%	26.3%	25.8%	34.0%	36.3%
外国人留学生向けの求人を見やすくまとめる	18.0%	12.0%	19.6%	4.4%	23.9%	12.0%	13.9%	15.8%	22.6%	17.0%	19.7%
外国人留学生向けの学内合同企業説明会	14.9%	10.9%	16.0%	11.1%	13.5%	4.0%	8.3%	25.0%	9.7%	21.3%	14.1%
日本語講座	12.5%	15.2%	11.8%	13.3%	12.9%	24.0%	8.3%	7.9%	16.1%	12.8%	11.3%
就職情報サイト登録会	12.3%	6.5%	13.9%	11.1%	12.3%	4.0%	13.9%	13.2%	16.1%	12.8%	16.9%
その他	20.3%	27.2%	18.4%	24.4%	12.9%	24.0%	25.0%	23.7%	38.7%	19.1%	10.0%

その他の回答	エリア	学校区分	内容
	北海道	公立	キャリアコンサルタントによる個別相談、ハローワーク等外部機関の紹介、留学生向け就職ハンドブックの配布等
	関東	私立	特定技能紹介
	中国	国立	希望者への個別対応

外国人留学生への就職支援に関する課題(自由記述)

エリア	学校区分	内容
甲信越	私立	国別によっても求人のある無しに差があるので、外国人材を積極採用している企業について情報が欲しい
九州・沖縄	私立	就労ビザ関連情報を学ぶ機会がない、大学関連分野に関する留学生向け求人が少ない
関東	私立	外国人留学生積極採用企業、高度な日本語能力を必須要件としない企業との接点創出
関東	私立	就職活動の活性化。キャリアセンターの利用拡大
北陸	私立	日本語能力の向上
中国	私立	地元の留学生支援センターの支援は受けているものの、地場企業の留学生ニーズの把握が不十分
関西	私立	在留資格を得られる職種について
甲信越	私立	コロナによって該当者が少ないが今後は課題だと思っている。サイト登録、新卒紹介に期待している

日本人留学生

日本人は留学生向けに実施しているプログラムは「エントリーシート添削」が47.6%で1位となった。次いで「模擬面接」が41.7%、「専任担当による個別相談」が29.2%。

実施しているプログラム(複数回答)	全体 (n=288)	国公立 (n=54)	私立 (n=234)	北海道・東 北(n=28)	関東 (n=110)	甲信越・北 陸(n=16)	東海(n=23)	関西(n=52)	中国・四国 (n=24)	九州・沖縄 (n=35)
エントリーシート添削	47.6%	44.4%	48.3%	42.9%	46.4%	62.5%	52.2%	44.2%	50.0%	48.6%
模擬面接	41.7%	40.7%	41.9%	35.7%	40.0%	43.8%	43.5%	44.2%	54.2%	37.1%
専任担当による個別相談	29.2%	22.2%	30.8%	25.0%	34.5%	12.5%	17.4%	26.9%	16.7%	42.9%
日本人留学生向けの就職活動に関するガイダンス	24.3%	20.4%	25.2%	14.3%	34.5%	-	26.1%	21.2%	8.3%	25.7%
就職活動マナー講座	22.2%	33.3%	19.7%	21.4%	20.0%	50.0%	8.7%	17.3%	25.0%	31.4%
日本人留学生向けの学内合同企業説明会	6.6%	7.4%	6.4%	3.6%	7.3%	-	4.3%	5.8%	8.3%	11.4%
就職情報サイト登録会	6.3%	5.6%	6.4%	14.3%	5.5%	-	-	11.5%	-	5.7%
日本人留学生向けの求人を見やすくまとめる	2.4%	-	3.0%	-	1.8%	6.3%	-	5.8%	-	2.9%
その他	31.9%	42.6%	29.5%	46.4%	24.5%	25.0%	43.5%	34.6%	37.5%	31.4%

その他の回答	エリア	学校区分	内容
	中国	公立	キャリア・就職相談室での個別相談
	東北	私立	特に行っていない(該当する学生がいない)
	関東	私立	留学予定者向け学内行事でのガイダンス

日本人留学生への就職支援に関する課題(自由記述)

エリア	学校区分	内容
関東	私立	採用活動の早期化による帰国後の就活の出遅れ
関西	私立	正規留学生(日本語で学習)の採用企業、インターン受入企業の開拓。英語のみで卒業する学生の採用企業の開拓。
関西	私立	日本人留学生に特化した支援を行っていない

### 障がいがある学生

障がいがある学生への特別な就職支援の実施は「実施している」59.5%（前年比1.4pt増）となった。実施プログラムの項目としては「専任担当による個別相談」が51.1%と最多となった。「その他」の回答としては「他団体と連携した訓練プログラム」「個別対応」という回答が多かった。また、障がいがある学生への就職支援に関する課題（自由記述）では「対応実績が乏しく、経験値が少ないこと」「今の体制（人員）でどこまで支援できるかが課題」と言った声が多くみられた。また障害者手帳を取得していない学生に関しては「障がいの有無について本人からの告知が無いと難しい」「手帳」を有していない（いわゆる）発達障害のある学生に対しどのような支援を実施するのか」といった声が多く上がった。

障がいがある学生への特別な就職支援の実施	全体 (n=550)	国公立 (n=127)	私立 (n=423)	北海道・東北 (n=67)	関東 (n=187)	甲信越・北陸 (n=40)	東海(n=49)	関西 (n=102)	中国・四国 (n=48)	九州・沖縄 (n=57)	参考:前年調査
実施している	59.5%	55.9%	60.5%	55.2%	62.6%	62.5%	63.3%	57.8%	56.3%	54.4%	58.1%
実施予定がある	10.2%	11.0%	9.9%	9.0%	11.2%	7.5%	10.2%	8.8%	10.4%	12.3%	7.7%
実施しておらず実施予定もない	30.4%	33.1%	29.6%	35.8%	26.2%	30.0%	26.5%	33.3%	33.3%	33.3%	34.2%

実施しているプログラム(複数回答)	全体 (n=419)	国公立 (n=87)	私立 (n=332)	北海道・東北 (n=45)	関東 (n=147)	甲信越・北陸 (n=27)	東海(n=42)	関西(n=78)	中国・四国 (n=35)	九州・沖縄 (n=45)	参考:前年調査
専任担当による個別相談	51.1%	54.0%	50.3%	57.8%	53.7%	63.0%	50.0%	50.0%	28.6%	48.9%	58.9%
エントリーシート添削	49.6%	40.2%	52.1%	55.6%	49.0%	48.1%	52.4%	52.6%	45.7%	42.2%	43.8%
模擬面接	46.5%	39.1%	48.5%	55.6%	46.3%	40.7%	47.6%	46.2%	40.0%	46.7%	38.1%
就職活動に関するガイダンス	30.3%	25.3%	31.6%	20.0%	42.2%	3.7%	26.2%	28.2%	22.9%	31.1%	39.9%
障がいがある学生向け求人の一覧化	20.8%	16.1%	22.0%	15.6%	22.4%	25.9%	19.0%	24.4%	14.3%	17.8%	19.5%
就職活動マナー講座	16.9%	19.5%	16.3%	15.6%	15.6%	11.1%	11.9%	19.2%	22.9%	22.2%	14.7%
学内合同企業説明会	7.4%	12.6%	6.0%	11.1%	5.4%	-	4.8%	6.4%	5.7%	20.0%	9.9%
就職情報サイト登録会	7.4%	8.0%	7.2%	11.1%	6.1%	3.7%	9.5%	9.0%	11.4%	2.2%	9.3%
その他	27.9%	24.1%	28.9%	31.1%	25.2%	29.6%	26.2%	29.5%	37.1%	24.4%	21.9%

その他の回答	エリア	学校区分	内容
	北海道	私立	他団体と連携した訓練プログラム
	関東	私立	生活リズムチェックセミナー、コミュニケーションが苦手な方の自己理解セミナー
	関東	私立	情報集約している(チラシ等の配布コーナーの設置)
	九州・沖縄	私立	個別に求人情報などを送っている
関西	国立	要望があれば個別に対応	

### 障がいがある学生への就職支援に関する課題(自由記述)

エリア	学校区分	内容
関東	私立	対応実績が乏しく、経験値が少ないこと。
関西	私立	手帳の有無など、保護者、他の専門家、大学以外の機関との連携、専門性の必要性など課題として捉えている。
甲信越	私立	地方企業の障がい者求人情報が入手困難
関西	私立	今の体制(人員)でどこまで支援できるかが課題と感じている。
関東	私立	障がいがある学生の積極的なセンターの利用
九州・沖縄	私立	障害手帳を有している学生には個別に対応しているものの、「手帳」を有していない(いわゆる)発達障害のある学生に対しどのような支援を実施するのか
関西	私立	手帳の有無や、未取得の場合の助言、取得予定の無い学生への対応
東海	私立	障がいの有無について本人からの告知が無いと難しい

### 体育会系学生

体育会系学生への就職支援で具体的に行っている支援内容では「該当学生を対象としたガイダンスの実施」16.7%、「顧問などを通じた求人紹介」11.8%、「該当学生を対象とした求人情報の提供」8.7%となった。最多は「特に無し」71.0%であったが、体育会系学生への就職支援に関する課題(自由記述)からは「指導者の人脈頼みにならない支援の仕方について知りたい」「信頼性のないエージェントの見極め」「学生時代に力を注いだクラブ活動=魅力を言語化する力」といった課題が確認できた。

体育会系学生への支援内容に該当する項目(複数回答)	全体 (n=473)	国公立 (n=111)	私立 (n=362)	北海道・東北 (n=60)	関東 (n=161)	甲信越・北陸 (n=35)	東海(n=45)	関西(n=86)	中国・四国 (n=36)	九州・沖縄 (n=50)	参考:前年調査
該当学生を対象としたガイダンスの実施	16.7%	2.7%	21.0%	13.3%	16.1%	14.3%	22.2%	23.3%	11.1%	12.0%	14.9%
顧問などを通じた求人紹介	11.8%	0.9%	15.2%	13.3%	9.9%	14.3%	11.1%	11.6%	5.6%	20.0%	11.5%
該当学生を対象とした求人情報の提供	8.7%	4.5%	9.9%	8.3%	7.5%	5.7%	8.9%	8.1%	5.6%	18.0%	10.9%
外部企業を利用した支援	7.8%	2.7%	9.4%	6.7%	6.8%	17.1%	11.1%	5.8%	2.8%	10.0%	6.3%
専門的な職員の配置	3.0%	-	3.9%	5.0%	5.0%	-	-	1.2%	2.8%	2.0%	3.0%
その他	3.2%	0.9%	3.9%	3.3%	3.7%	2.9%	-	2.3%	2.8%	6.0%	1.8%
特に無し	71.0%	92.8%	64.4%	76.7%	72.0%	77.1%	68.9%	67.4%	77.8%	60.0%	72.6%

### 体育会系学生への就職支援に関する課題(自由記述)

エリア	学校区分	内容
九州	私立	信頼できる支援サイトとの連携
中国	私立	地域のスポーツ機関と顧問との連携(事例紹介)
甲信越	私立	一般学生と同様に支援している

### 体育会系学生への就職支援に関する課題(自由記述)

エリア	学校区分	内容
甲信越	私立	指導者の人脈頼みにならない支援の仕方について知りたい
中国	私立	信頼性のないエージェントの見極め
東海	私立	学生時代に力を注いだクラブ活動=魅力を言語化する力

### 高校等と連携して行っていること

高校等と連携して行っていることを聞いたところ、「今は行っていないし今後取り組む予定もない」が52.8%であったが、行っている中では「授業やプログラム等での教職員による講演」が24.3%と最多、「入学前のキャリア・就職情報の提供」が14.7%、「個別の相談対応」が11.2%という結果となった。また「今は行っていないが今後取り組む予定」が7.2%あり、今後の連携がどのように変わっていくのか、注視していきたい。

	全体 (n=498)	国公立 (n=115)	私立 (n=383)	北海道・東 北(n=63)	関東 (n=171)	甲信越・北 陸(n=40)	東海(n=39)	関西(n=92)	中国・四国 (n=40)	九州・沖縄 (n=53)
授業やプログラム等での教職員による講演	24.3%	20.9%	25.3%	27.0%	25.7%	22.5%	23.1%	25.0%	17.5%	22.6%
入学前のキャリア・就職情報の提供	14.7%	11.3%	15.7%	15.9%	14.0%	27.5%	10.3%	14.1%	10.0%	13.2%
個別の相談対応	11.2%	9.6%	11.7%	11.1%	12.9%	10.0%	7.7%	10.9%	-	18.9%
高校の進路指導部署との情報交換・レクチャー	9.2%	8.7%	9.4%	11.1%	9.9%	12.5%	5.1%	7.6%	10.0%	7.5%
授業やプログラム等での大学生による講演や座談会	7.4%	5.2%	8.1%	9.5%	6.4%	10.0%	5.1%	6.5%	7.5%	9.4%
高校生の子をもつ保護者向けの講演	4.2%	1.7%	5.0%	3.2%	5.3%	7.5%	2.6%	4.3%	-	3.8%
その他	3.8%	0.9%	4.7%	7.9%	3.5%	2.5%	-	1.1%	2.5%	9.4%
今は行っていないが今後取り組む予定	7.2%	1.7%	8.9%	11.1%	7.0%	10.0%	5.1%	7.6%	7.5%	1.9%
今は行っていないし今後取り組む予定もない	52.8%	66.1%	48.8%	39.7%	55.6%	52.5%	59.0%	54.3%	65.0%	43.4%

## (8)自由記述

### 学校主催で行う就職ガイダンス増減の理由

#### 増えた理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
九州・沖縄	私立	広報活動を強化したため。
関東	国立	コロナの影響が少なくなる中で、就職動向の変化の有無を確認する意図が感じられた。
九州・沖縄	私立	講座をパッケージ化して単発での受講を不可とした。
甲信越	公立	コロナ禍における友人や先輩との交流が減少し、就活情報の入手経路が限られてしまったため。
九州・沖縄	国立	就職ガイダンスの開催数を充実させたり、学部との連携強化(ガイダンス共催)など、キャリアセンター主催に集約したため
東海	国立	対面も再開したことで、学生のモチベーションが維持され、年間を通して継続参加の学生が増えた。
中国	私立	インターンシップへの需要が高まり、キャリア教育に興味を持つ学生が増えたことが要因と考えている。
北海道	国立	コロナ禍が明け、学生が大学に通学するようになり、イベント等に参加しやすくなった。
東海	私立	意識の違いはありますが、コロナが5類に移行し、各種の規制が緩和され、対面に不安や心配が弱まったのも1つの原因ではないでしょうか。
北海道	国立	対面方式を復活したため。
北海道	公立	企業OBの登壇を増やすなど、大学ならではの取組に興味を持ってもらえた可能性があります。また、コロナ禍ということで学生が就職活動に集中できる外的要因があったかもしれません。
関東	私立	テーマ別や学生の就職状況別のガイダンスを増やしたこと、キャリアセンター公式LINEオープンチャットの開設・連動など、学生のニーズによりきめ細やかに対応する施策展開を図ることができたと考えております。

#### 減った理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
北海道	私立	対面の出席率が悪くなった。コロナ禍で対面のイベントが苦手になっている可能性がある。
中国	私立	入学直後から、オンラインでの活動が中心のため、対面イベントや友達と一緒に参加する。ということに慣れていないのかもしれない。
関東	私立	対面授業開始となり、そこへの適応に力を入れたため単位の無い講座への参加が減ったと思われる。
東海	公立	入学時よりオンライン授業となり、大学のイベントに関心をもつ機会が得られなかった。また、部活・サークル活動などの行動制限もあり、友人や先輩・後輩との関係性を作ることが難しかったことも一部影響していると考えられる。
関東	私立	キャリアの授業科目履修者が増加は一つの要因としてあると思われる。
関東	私立	情報収集ツールの多様化により、学内ガイダンスの需要が減っていること。
関西	私立	24卒生から対面によるガイダンスを再開させたが、アーカイブによる受講を好む傾向が強かった。
甲信越	私立	学生の就職に対する意識の低下
北陸	公立	ガイダンス実施時間に授業が重なった。内容が学生のニーズに合わなかった
北海道	私立	対面実施に戻してのガイダンス実施であったが、オンライン実施の方がニーズがあったのかと感じる。
北海道	国立	コロナ禍のオンライン中心の学生生活を経て、対面の大人数向けのガイダンスに足を運ぼうという心理が働きにくくなったのではないかと感じる。
関東	私立	コロナをきっかけに様々なツールで手軽に欲しい情報が得られる状況が進んだためか、就職ガイダンスに参加しなければならないという意識が希薄化していると考えられます
関西	私立	9月以前に学部別や学年の就活セミナーを実施したことにより、2023年1月以降のガイダンス開催時には自走できる学生が増加しており、参加者が減ったと考えられる。

## キャリアセンターの負荷増減の理由

### 増えた理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
中国	私立	入学時から、2年間、オンラインでの活動が中心となっていたため、友人や先輩との就職関係の情報共有が難しい学生もいる。また、アルバイトなどのいわゆる「ガクチカ」系の経験値も不足しており、ESを作成することにかかなりの時間を要す学生が増えてきた。
北海道	国立	配慮が必要な学生が増えていることから、きめ細かな対応が求められている。
関東	私立	すべての学年において、就職に関する意識が低下しているため。
関東	私立	WEB選考や人事担当者との直接の接触機会が減り、就職先を決めかねる学生も多い。慎重、自分で決められない学生相談も増えた。
北陸	公立	就職活動におけるインターンシップのウェイトが大きくなり、就職活動が長期化している分だけキャリアセンターの負荷も増えている。
東海	私立	超売り手市場の復活に伴い、学生が余裕を持って行動する傾向を強く感じる。例えば1つ1つの対応が雑、焦らない(どこか余裕を持って行動し過ぎている)。
甲信越	公立	メンタル不調などを訴える学生が増えたため
関東	私立	インターシップ4類型への対応(学生への周知含む)。ハイブリッド形式でのガイダンス開催。
関東	私立	24卒のキャリア・就職支援について「対面」と「オンライン」のハイブリッドを23卒以上に意識しなければならず、負担が増えた。
関東	私立	キャリア支援専門担当ができ、新たな支援を開始し、支援の充実を図っているため。
中国	公立	学生からの相談件数が大幅に増えた。また、企業からの求人や面談などの企業対応も大幅に増えている。
甲信越	私立	インターンシップ対応(特に正課外)、低学年支援(インターンシップ)、全員面談
北海道	私立	就職活動の方法も多岐に渡り、学生もSNSなどで情報を得ているため、様々な知識が必要になる。
中国	国立	学生が早い段階から準備できるようガイダンスの計画を大幅に変更したため。
関東	私立	コロナが明けて、就職活動の実態や学生の状況に合わせて支援行事の見直しや新規支援行事の導入を行っているため
中国	私立	キャリアデザイン授業に関わるが多くなった為
関東	私立	企業の訪問やお問い合わせが増えた、イベントの開催の前倒しをしたため
関東	公立	採用活動・就職活動の早期化・通年化が進み、サポートが必要な学生やインターンシッププログラムの数が増加したため。

### 減った理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	私立	講座・セミナー・ガイダンス数を意図的に減らした為。
中国	公立	ペーパーレス化の推進。ルーチンワークの見直し
関西	私立	学生の人数そのものが減っているため。
関東	私立	早期で動いた学生の内定・活動終了が例年よりも早い為
関東	私立	オンライン慣れた学生が増え、情報を自分で取得する割合が増えたように感じます。自分で、就職活動に必要な情報を取得することで就活相談の件数自体も減少していると考えられます。
関東	私立	個別の相談・面談希望が減少した。



## 低学年学生へのキャリア支援に関する課題

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関西	私立	低学年が必要とするキャリア支援、学内担当でキャリア支援を行えるようなスキルアップなど
東海	私立	資格を踏まえたキャリアデザインの構築
関東	私立	低学年次からキャリアに対する意識付けが必要と考えるが、情報の提供の仕方に注意する必要がある。(大学生生活が始まったばかりなのにキャリア関連のメールが多いと苦情があった)
東海	私立	キャリア科目として必修としたいが、卒業単位にかかわるため、難しい。
関東	私立	大学生生活が将来のキャリアにつながることの意識付け
関東	私立	2年生前期までに就活に必要な事項を指導したいが、授業が多く空いているコマがない
関東	私立	学生生活の充実と早期化する就職活動とのバランス
関東	国立	教員から理解を得られない。学業に専念させるように叱咤がある。
関東	私立	必修科目が多く、支援(オリエンテーションやモチベーションの維持)にかけられる時間を確保することが難しい。
関東	私立	低学年のキャリア意識の醸成が課題、キャリア教育が一律実施できていない
関東	私立	キャリア教育を正課科目で導入していないため、就職支援の中に取り入れていく必要がある。
東海	私立	就活目前の学生との「インターンシップ」の扱いの差別化、参加者の把握
関東	私立	ガイダンス等イベントへの集客が課題。学生は「キャリア＝就職」という捉え方をしてしまうため、キャリア部署発信のイベントに意識が向いていない。「キャリア＝自分の人生全体」という考え方をもちて学生生活を充実させるための取り組みを充実させていきたいと考える。
東北	公立	低学年学生向けに、キャリアガイダンスを始めたいところだが、これまでのノウハウがなく、学内の教職員が講師となるか、学外に委託するかを決めかねている。
東北	私立	アセスメントツールは一人ひとり丁寧なフィードバックが必要。中途半端なアセスメントは自分の可能性を限定する危険がある

## 就職活動生への就職支援に関する課題

エリア	学区分	自由回答部分記載
中国	私立	就職活動支援サービスが多様化しすぎて学生が主体的に利用サービスを選択できていない。
関東	私立	自己肯定感が極端に少ない学生への支援
関西	公立	早期で安易に決めてしまう学生、何も進展がないからと相談に来てくれない学生への対応
関東	私立	卒業間際で就職が決まっていない学生のフォロー
関西	私立	報告・連絡・相談のない学生への対応
東北	国立	オワハラ対応の指導
関東	私立	厳選採用を行う企業が増加しているため、対策を強化する必要性がある。
中国	私立	就職も進学も希望しない学生への指導
北海道	私立	ガイダンスの参加状況が悪い
関東	私立	内定率も非常に高いため、数値上での問題は特段はあがってきていないように思うが、ミスマッチ・悔いのない就活ができたかもう少し追う必要があるのかもしれない。
関西	私立	就活を自走できない学生との接点の創出と継続支援。
関東	私立	ノウハウだけに終わらない就活支援の実施
関東	私立	学生動向のより精緻、網羅的な把握(エビデンス)に基づいた施策検討
関東	私立	活動状況の報告が年々下がっている。最終的には確認しているものの、途中経過・時期などの情報が不足しており、適切な時期・内容での支援についての仮設検証が出来ずにいる

## その他の課題

エリア	学区分	自由回答部分記載
北陸	国立	博士後期課程(博士人材)向けの就職支援
関東	私立	学内就職イベントへの大手企業参加率が低い
中国	公立	キャリアセンターから発信する情報(学内セミナー、求人情報など)が学生に見てもらえない
関東	私立	キャリアセンター職員のスキル向上について、学内研修など、スタッフ間でのスキルを向上する場を設ける時間の確保の難しさ。
関東	私立	本当に就職をしたいと考えているのかそうでないのかがあいまいな学生への支援・求人紹介
中国	国立	メンタル不調の学生に対するキャリア支援
関東	国立	キャリア支援内容についての周知が行き届いておらず、活用が十分になされていない。

## これからの就職支援についてのご意見

エリア	学区分	自由回答部分記載
関西	公立	学校推薦で選考を受けることは、学生側にあまりメリットが無いように感じる。後付け推薦についても、内定辞退抑止に使用されているのであれば、今後は推薦状の発行を拒否することも考えないといけないかもしれない。
四国	私立	おそらく、旧態依然とした方法・手段では学生のサポートができなくなるケースが増えてくるので、支援部としても常に情報収集を続けていきたい。
関西	私立	内定者へのオワハラに関する学生からの相談が増えている。
関東	私立	求人は多くなる一方、学力や就職活動マインドの低い学生の増加。
中国	私立	学生の就活、キャリア形成への主体的な取り組みができるようになるために何が 필요한のか、どのようにすれば学生の本質をつけるのか策をご教示頂きたい
関西	私立	マス対応ではなく個別対応を希望する学生が増えている傾向があります。これまでの実施方法を見直し、個別対応に舵を取る必要性も視野に入れ、今後の就職支援をして参りたいと考えています。
関東	私立	障がいをもっているかどうか判明しない学生や障がいを持つ学生に対する在学中の就職支援の方法や相談の先(障がい者雇用の求人先の一覧化)
関西	私立	就職意欲のある学生とそうでない学生の二極化と言われているが、活動意欲の低い学生への効果的な方策があれば知りたい。
関東	私立	理系学生対象の学校推薦制度は形骸化しており、大学側の負担に見合わない。文系と同じくすべて自由応募にして欲しい。また、文系学生に対して推薦状の提出を求める行為は止めていただきたい。
東海	私立	活動期間が長くなり、対応する職員の負担も増えるように感じる。スペシャリスト(例えば、キャリアコンサルタント資格保有者や、留学生の在留資格変更に対応できる行政書士など)のバックアップ、公的機関の活用などについて幅広く検討し、導入できるようなシステムができればいいと思う。
東海	私立	アルバイト経験があるかないかで、就活に差が出ているように感じられる。キャリア教育の一つとして、低学年のうちに少しでも経験することが大事かと思う。
関東	私立	就職活動での生成AIの効果的な活用法について、学生に正しい情報を提供したい。
関東	私立	インターンシップへの参加が就職活動の始まりとする学生がいる一方、インターンシップに参加しない学生もいるので、学生の動向を注視していきたい。
東北	私立	相対的に理工系学生が少ないためか、技術系職種を採用している企業の中に、文理不問で採用活動をおこなっている企業があり、今後ミスマッチから早期離職に繋がらないか懸念している。
関西	私立	他大学の支援好事例や、DX推進事例などを取りまとめの上、ご共有いただけると非常にありがたい。